

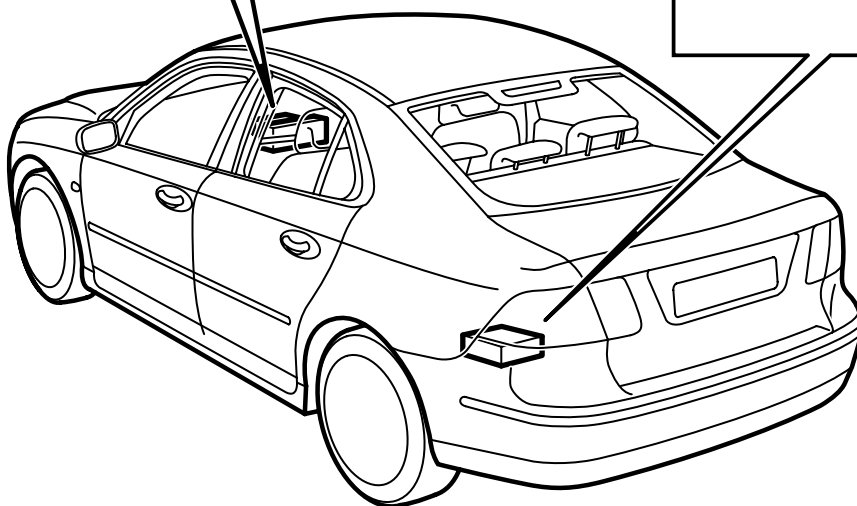
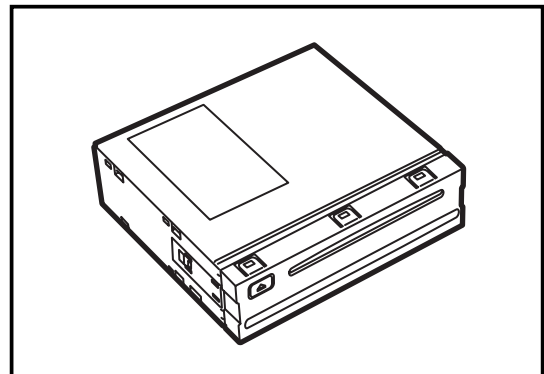
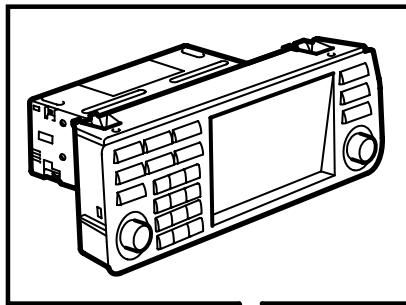


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

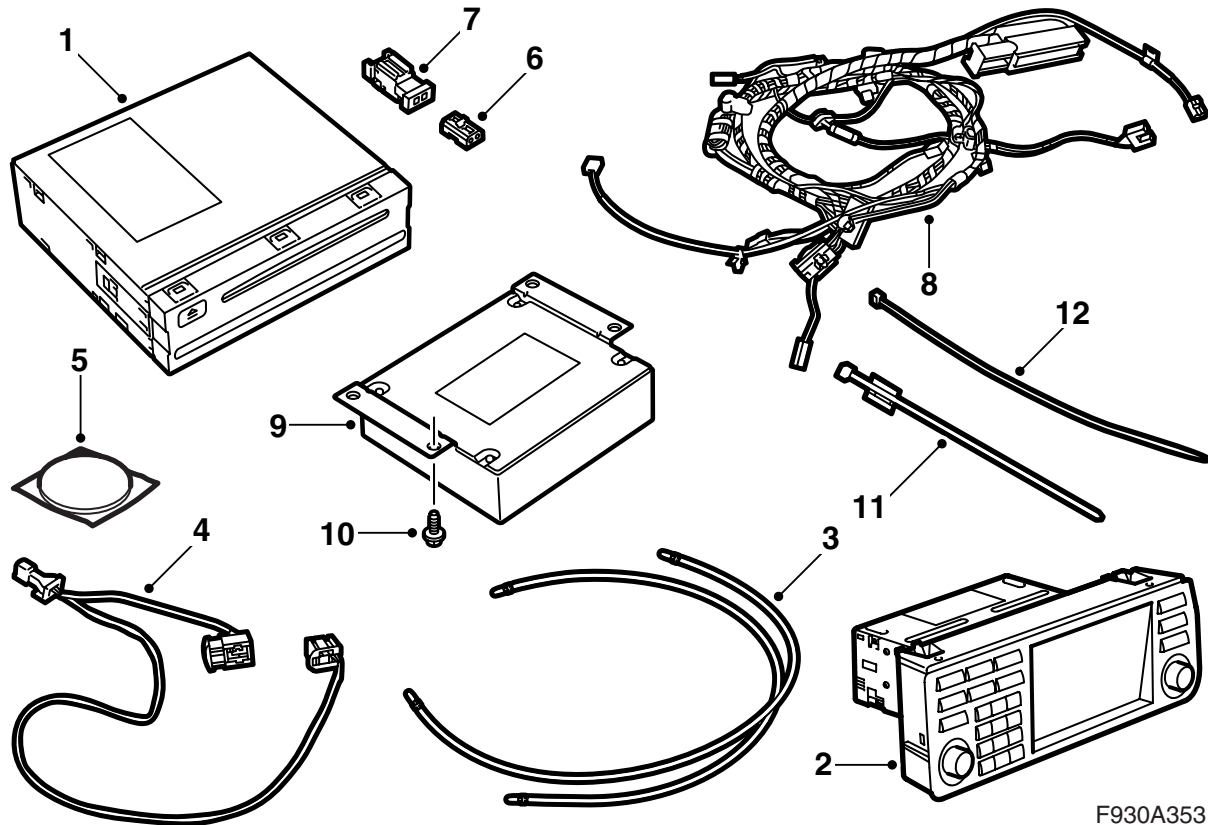
Saab 9-3 4D M03-

ナビゲーションシステム

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 787 151				
12 788 472				
12 801 752				
12 801 753				
12 804 985				
12 804 986				
12 804 987				
12 804 988				
32 000 001				
32 000 002				
32 000 003				
32 000 004	9:51-02	Jan 04	12 801 443	12 801 443 Jan 03

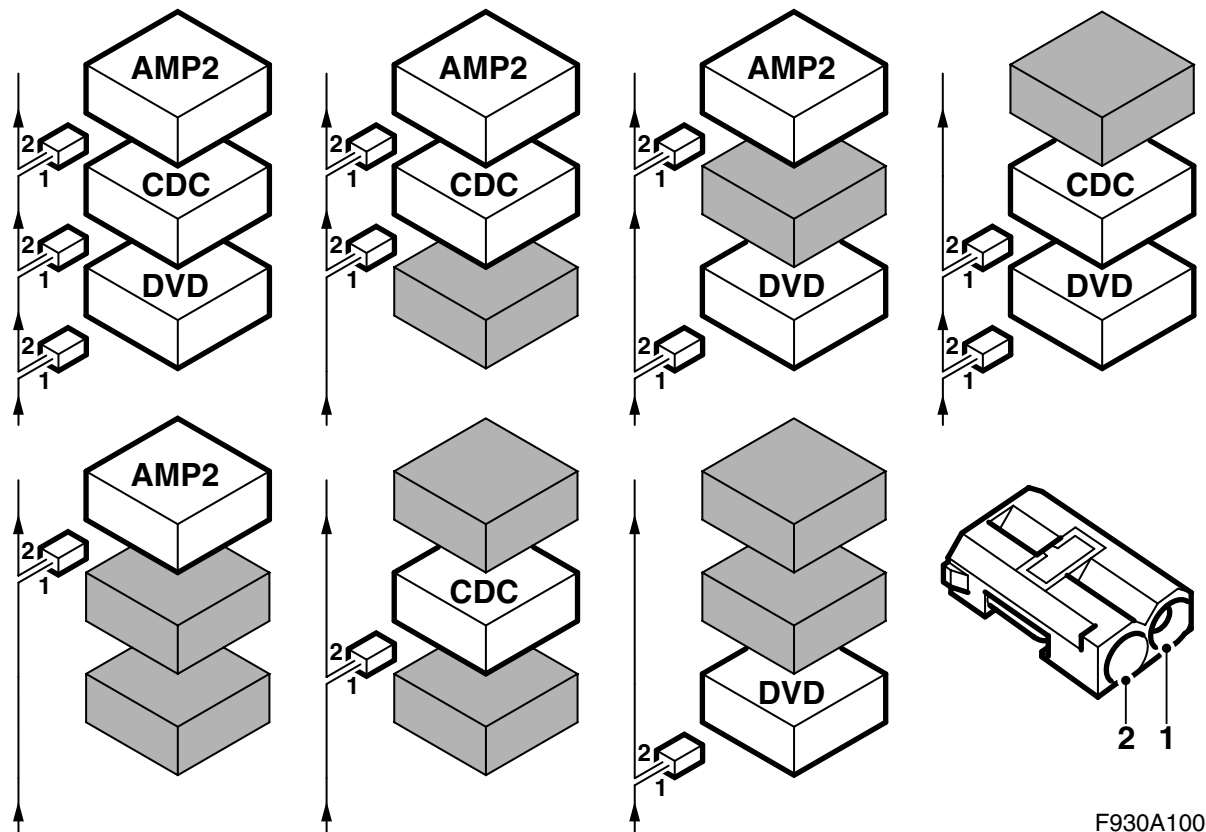


F930A120



F930A353

- 1 DVD プレーヤー
 - 2 操作パネル
 - 3 光ファイバーケーブル
(キット 12 787 151、12 788 472、12 804 987、12 804 988、32 000 001 及び 32 000 002 には 2 本入っている)
(キット 12 801 752、12 801 753、12 804 985、12 804 986、32 000 003 及び 32 000 004 には 1 本入っている)
 - 4 ワイヤーハーネス
 - 5 がたつき防止用テープ
(キット 12 787 151、12 788 472、32 000 003 及び 32 000 004 には 1 個入っている)
(キット 32 000 001 及び 32 000 002 には 3 個入っている)
 - 6 光ファイバーケーブル用コネクタ (2 極)
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 には 2 個入っている)
(キット 12 801 752、12 801 753、12 804 985、12 804 986、12 804 987、12 804 988、32 000 001、32 000 002、32 000 003 及び 32 000 004 には 1 個入っている)
 - 7 光ファイバーケーブルコネクタ、2 極
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 には 3 個入っている)
(キット 12 801 752、12 801 753、12 804 987、12 804 988、32 000 001 及び 32 000 002 には 1 個入っている)
 - 8 ワイヤーハーネス
(キット 12 787 151、12 788 472、12 804 987、12 804 988、32 000 001 及び 32 000 002 にはのみ入っている)
 - 9 テレマティクスユニット
(キット 12 787 151、12 788 472、12 804 987、12 804 988、32 000 001 及び 32 000 002 にはのみ入っている)
 - 10 ネジ (x4)
(キット 12 787 151、12 788 472、12 804 987、12 804 988、32 000 001 及び 32 000 002 にはのみ入っている)
 - 11 ケーブルタイ
 - 12 ケーブルタイ (x3)
- その他に以下のパーツが必要 (別途発注のこと)**
- トランクルーム内の装置用ブラケット (車種限定)
 - オプションキット : アンテナ (車種限定)



F930A100

バス通信

車の電気システムの多くの部品がバスを使って通信を行う。バス通信には、P-バス (Powertrain Bus、パワートレインバス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、O-バス (Optic bus、オプティック (光学) バス) の 3 種類がある。オーディオシステムは、ナビゲーションシステムや電話システムなどと一緒に O-バスを介して通信を行う。

O-バスは光学式でありリングバスである。2本の光ファイバーケーブルがバス上にあるそれぞれの制御モジュールに接続されており、1本は受信用、もう1本は送信用である。受信したメッセージはそれぞれの制御モジュールで光信号から電気信号に変換され、送信時には光信号に再度変換される。O-バスのデータ転送速度は毎秒 25 メガビットである。

重要事項

O-バスに接続されているものは全て、特別な順序 (図を参照のこと) で接続され、リングがいつも閉じていることが非常に重要である。

この取り付け説明書にある記述以外の方法で接続すると、車の多くのシステムが機能なくなる結果を招く場合がある。

AMP1 とは左フロントシート下のアンプを指す。

AMP2 とは、REC (リアエレクトリカルセンター) そばのアンプを指す。

CDC とは、REC (リアエレクトリカルセンター) そばの CD チェンジャーを指す。

DVD とは、REC (リアエレクトリカルセンター) そばの DVD プレーヤーを指す。

O-バスに接続する新たな装備品の取り付けに際しては、既存装備品の正しい側に接続することが重要である。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- ファイバーケーブルを半径 25mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルを 85 °C 以上の高温にさらしてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

重要事項

左フロントシートがパワーシートで、REC (リアエレクトロカルセンター) のそばにブラケットが無い車では、左フロントシートをできるだけ前に移動させて、バックレストを前方に倒す。

- 1 診断ツールを接続し、インフォティメントシステムの操作パネルを車から分離する。

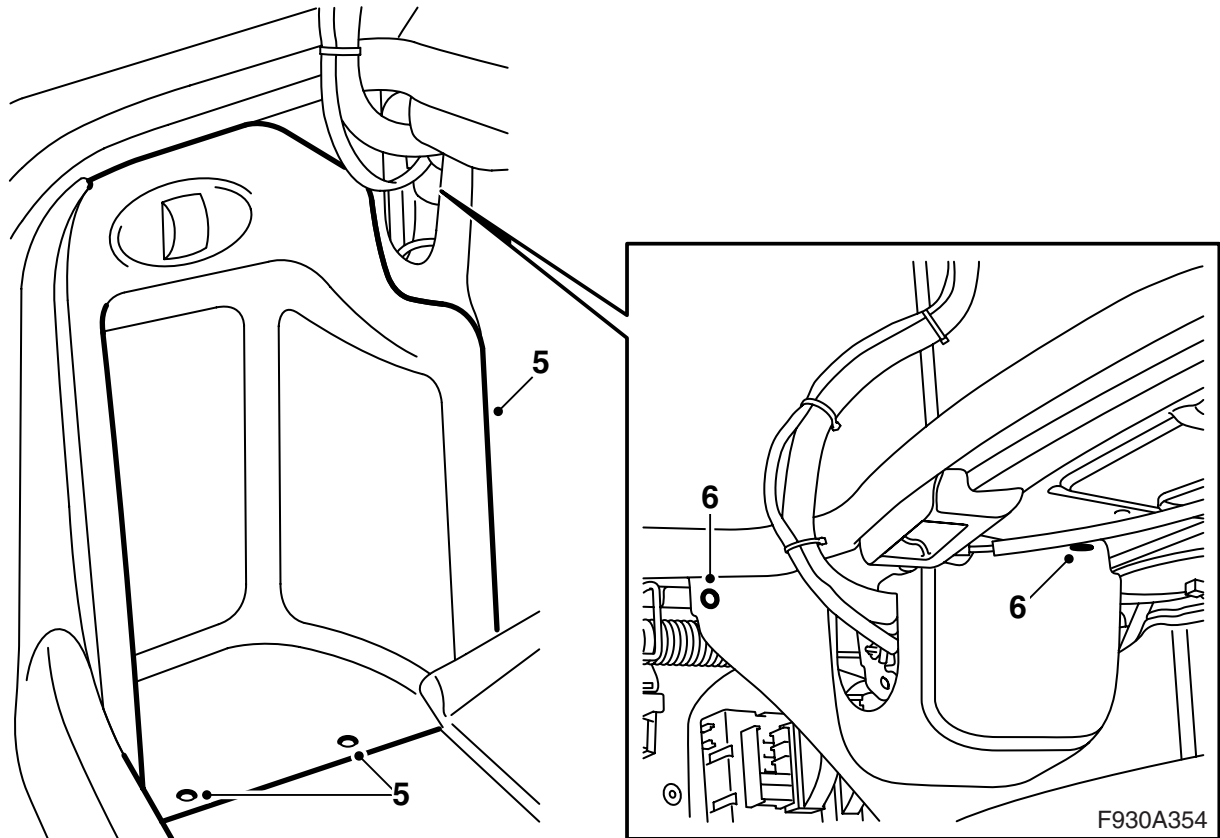
重要事項

この制御モジュールは、静電気放電に敏感である。制御モジュール内部の構成部品が損傷しないように、部品の交換は以下の手順に従って慎重に行うこと。

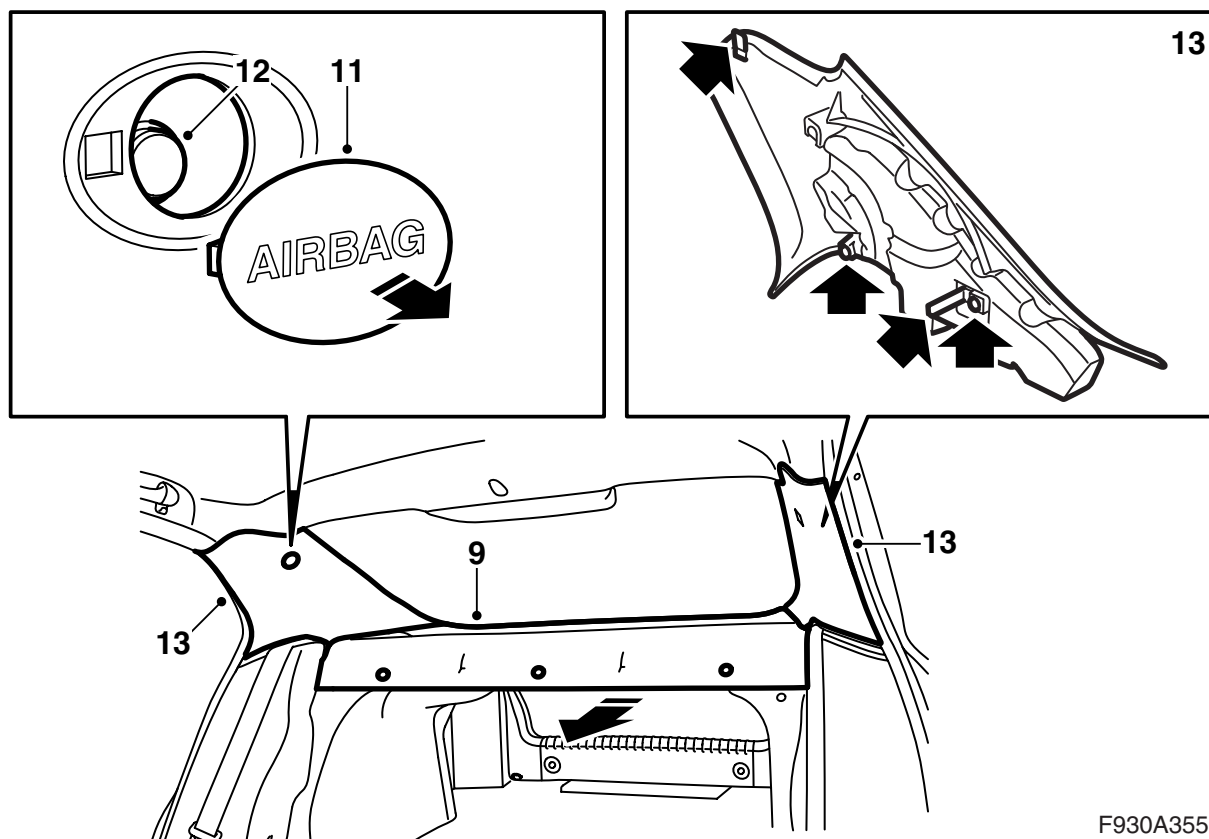
- 手や衣服が絶対に制御モジュールのピンに触れないようにすること。
- 車のボディ/エンジンに触れることで、作業する人自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターの接続を外す。
- 車のボディ/エンジンに触れることで、作業する人自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターを接続する。
- 交換済の制御モジュールは、ピンに触れないように注意しながら返品用の梱包箱に入れる。
- 新しい制御モジュールは、できるだけ包装されたままの状態にしておく。

メニュー「全て」に行き、「追加 / 削除」の項で該当の制御モジュールを選択する。それから「削除」を選択し、後は指示に従う。このときイグニッションキーはONの位置にしておくこと。TIS2000の使用が必要となる場合がある。車から制御モジュールを分離するときには、イグニッションキーはOFFの位置でなければならない。この後なら、制御モジュールを取り外すことができる。

- 2 トランクリッドを開く。
- 3 バッテリーのマイナスケーブルを取り外し、イグニッションスイッチからキーを抜き取る。



- 4 トランクルームフロアを前方へ倒す。
- 5 トランクルームの左側サイドトリムのハッチを取り外す。
M03： 右側のハッチを下げて開く。
- 6 左側サイドトリム用クリップを取り外し、作業の邪魔にならないようにトリムをどける。
M03： 右側サイドトリム用クリップを取り外し、作業の邪魔にならないようにトリムをどける。
- 7 リアシートのバックレストを倒す。



F930A355

- 8 リアトレイのトリムを保持しているクリップを取り外す。
- 9 リアトレイのトリムを真っ直ぐ前方に引く。
- 10 パーセルシェルフの中央の穴のそばに、アンテナケーブルの接続部があるか確認する。パーセルシェルフの中央に何らかの電子部品ユニットが取り付けられているか否かも確認する。

アンテナケーブルの接続部が無い場合: 手順 11 から作業を続行する。

青いアンテナケーブル接続部はあるが、テレマティークユニットは無い場合: 手順 29 から作業を続行する。

紫色のアンテナケーブル接続部はあるが、テレマティークユニットは無い場合: 手順 11 から作業を続行する。

2 個のアンテナケーブル接続部はあるが、テレマティークユニットは無い場合: 手順 29 から作業を続行する。

紫色のアンテナケーブル接続部とテレマティークユニットはあるが、青いアンテナケーブル接続部は無い場合: 手順 11 から作業を続行する。

紫色のアンテナケーブル接続部がテレマティークユニットに接続されている。青いアンテナケーブル接続部はあるが接続はされていない場合: 手順 36 から作業を続行する。

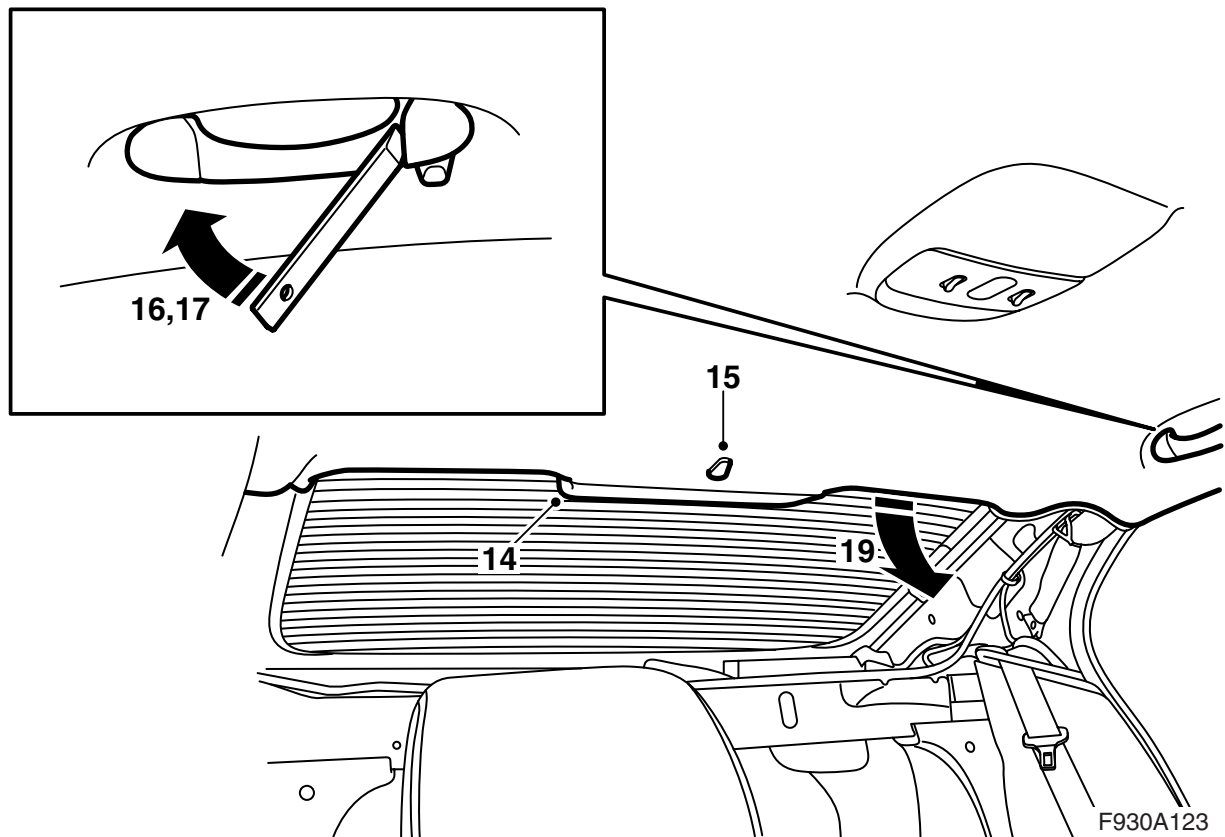
- 11 各Cピラートリムからカバーワッシャを取り外す。取り外しツール (82 93 474) を使用する。

- 12 各Cピラートリムから、ネジを注意深く取り外す。

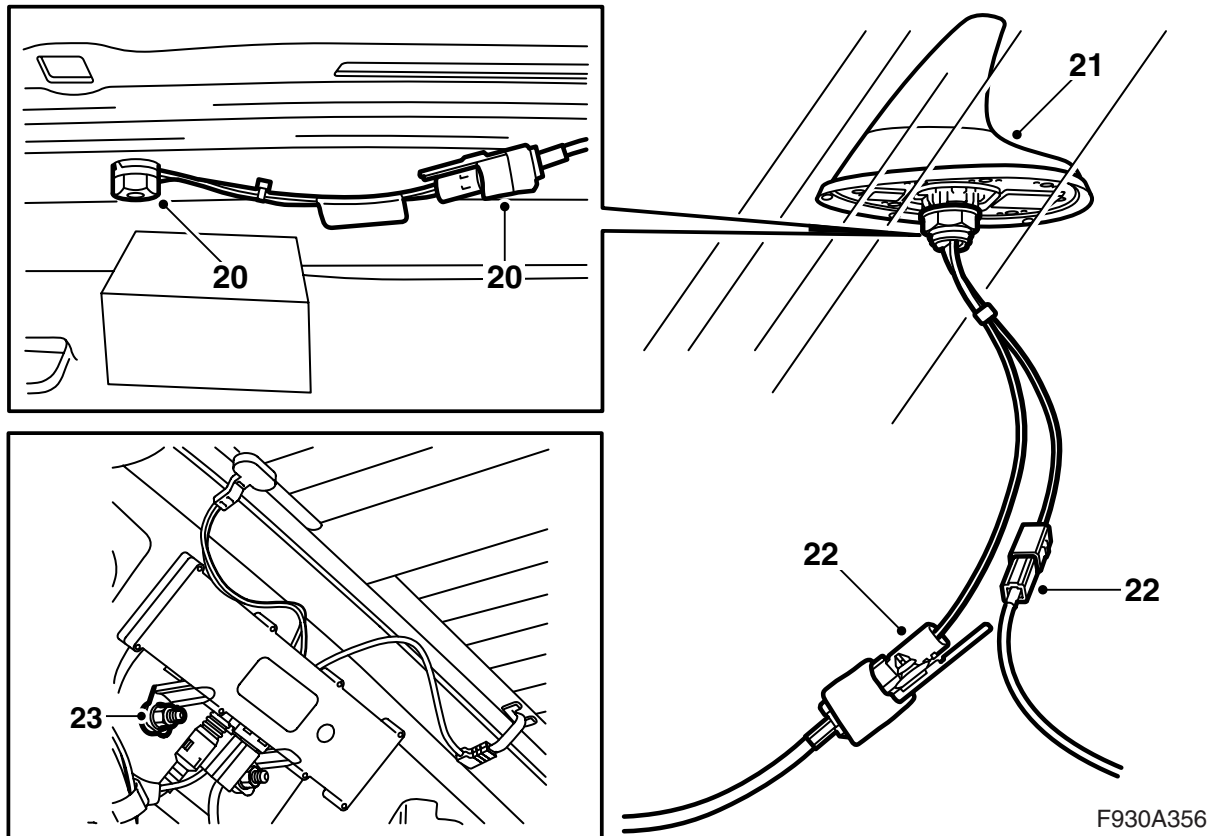
重要事項

ネジはエキスパンダー内に取り付けられ、このエキスパンダーはボディに取り付けられている。エキスパンダーが穴に押し込まれてしまうと、使えなくなる場合があるので注意すること。

- 13 Cピラートリムを、まず各トリムの下側をCピラーからまっすぐ引き離し、それからねじるようにして上側のキャッチを外して、取り外す。

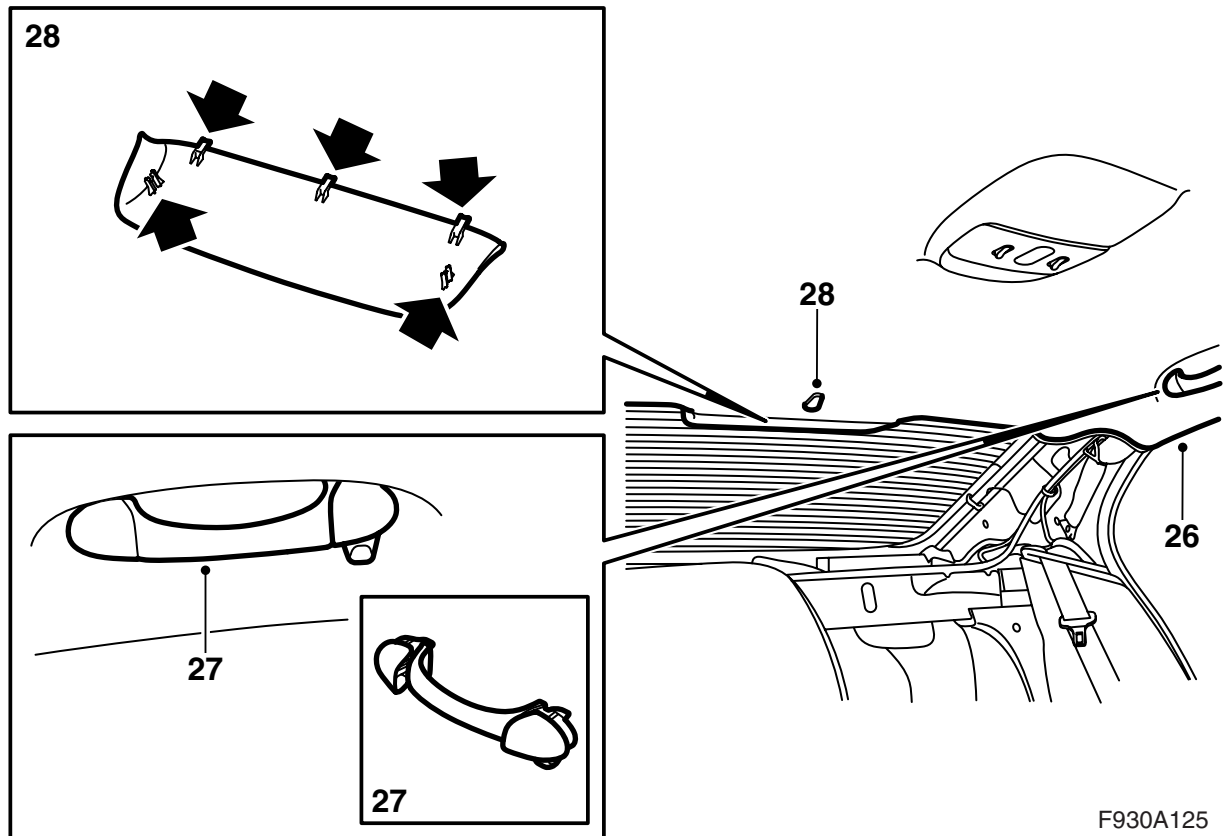


- 14 ハイマウントブレーキライトのカバーを、注意深く下向き後方に引いて、取り外す。
- 15 インナールーフの後端にあるクリップを、90°回して取り外す。
- 16 リアのカーブハンドル上のエンドピースを両方共取り外す。取り外し工具 (82 93 474) を使用して、外向きにこじると外れる。
- 17 カーブハンドルをまっすぐ引き出す。
- 18 ルーフトリムを、リアドア付近のシーリングストリップから外す。
- 19 アンテナに手が届くように、ルーフの後端を注意深く下げる。場合によっては、ブレーキライトのコネクターを取り外す必要があることがある。



- 20 ルーフアンテナからアンテナケーブルを取り外し、アンテナを外す。
- 21 キット内容のアンテナを取り出す。アンテナケーブルをルーフの穴を通して引き出し、このアンテナに取り付ける。
アンテナのナットを締め付ける。
締め付けトルク : 2 Nm (1.5 lbf ft)
- 22 **アンテナケーブルがあり、これが前方まで配線されている車:** まず既存のアンテナケーブルをアンテナの紫色コネクタに接続する。キットのアンテナケーブルを取り出し、車のルーフへの取り付け用である2個のクリップを取り外す。キットの、青いコネクタ付きのアンテナケーブルを、アンテナの青いコネクタに接続する。キットのアンテナケーブルと、余分な紫色のコネクタを、既存のアンテナケーブルに沿って右Cピラーそばの分岐点まで固定する。3片のがたつき防止用テープを使用する(特に、このうち1片は余分なコネクタとルーフの間から異音が出ることを防止するために使用する)。
- 23 キットのアンテナケーブルを、アンテナアンプ上側のボルトに固定する。
- 24 未使用のアンテナケーブルと余分なコネクタは(ある場合)両方とも、新しいアンテナケーブルと一緒にCピラーにケーブルタイで固定する。異音の発生を防止するため、がたつき防止用テープを余分なコネクタの後ろでボディに貼り付ける。
- 25 **テレマティークユニットがパーセルシェルフ中央にある車:** アンテナケーブルをテレマティークユニットに接続する。

紫色のコネクタ付きのアンテナケーブルがあり、これがパーセルシェルフまで配線されている車: 既存のアンテナケーブルをルーフ後端の穴から取り外し、このアンテナケーブルを右Cピラーに沿って曲げ下げる。パーセルシェルフ中央まで配線されているアンテナケーブルを取り外す(テレマティークユニットが取り付けられている場合には、このユニットからもアンテナケーブルを取り外す)。キットのアンテナケーブルをアンテナに接続し、ルーフ後端の穴にケーブルクリップをはめる。キットのアンテナケーブルをCピラーに沿って配線する。

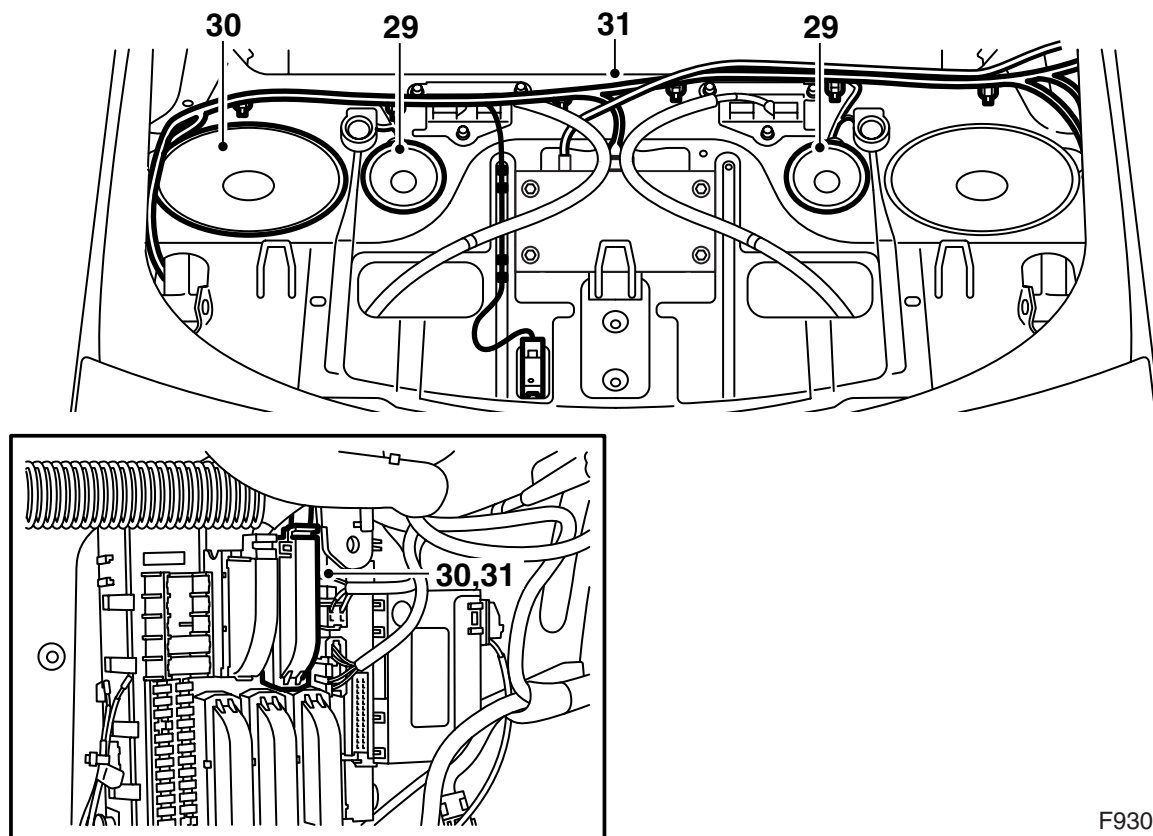


F930A125

- 26 ルーフトリムを、リアドア上側のシーリングストリップにはめ入れる。
- 27 リアのカーブハンドルを押し込んで固定し、エンドピースを両方共はめる。
- 28 ハイマウントブレーキライトのカバーを取り付け、インナールーフのクリップを押し込んで固定する。

テレマティークユニットが無い車： 手順 29 から作業を続行する。

テレマティークユニットがある車： アンテナケーブルを、パーセルシェルフ上のケーブルクランプに固定する。手順 36 から作業を続行する。



F930A357

29 中音域スピーカーをリアトレイから取り外し、これらのスピーカーからコネクタを外す。

31 新しいワイヤーハーネスをリアトレイ上に位置づけ、これを接続する。

重要事項

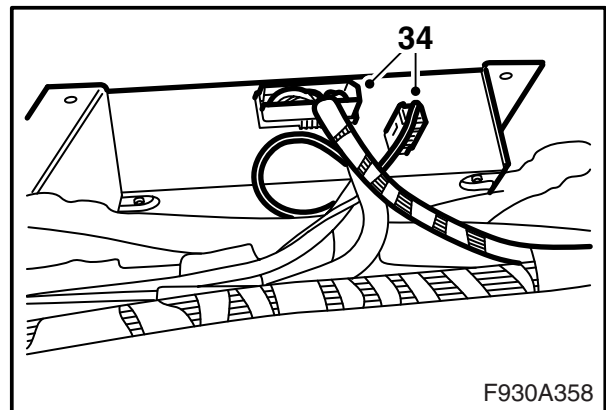
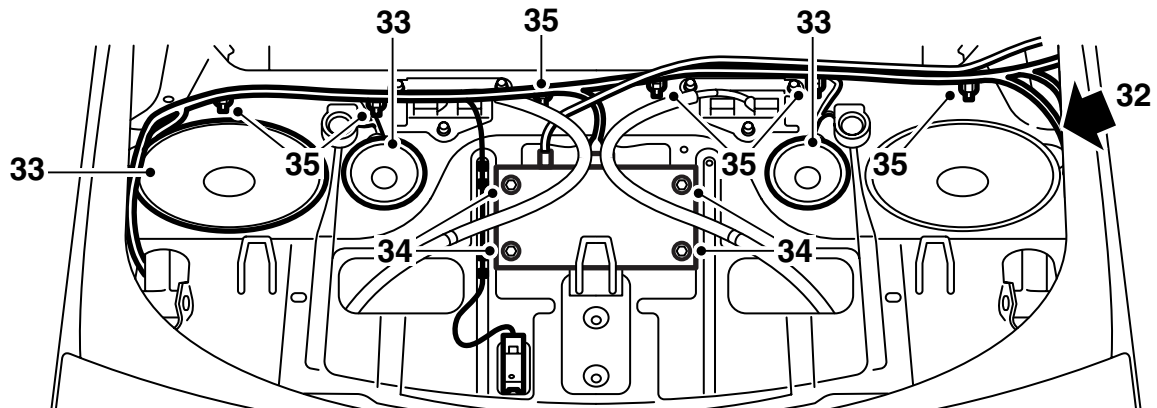
車に高音域スピーカーがある場合には、このスピーカーと中音域スピーカーの間のワイヤーハーネスが全スピーカーに接続された状態を保つため、コネクタを分割する必要がある。

30 左側の低音スピーカー（または左側のカバー）を取り外す。ワイヤーハーネスをパーセルシェルフから外し、REC（リア電気リカルセンター）内の接続部を外す。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



F930A358

- 32 **M03:** ファイバーケーブルを車の右側で引き下げる。
M04以降: 2本のファイバーケーブル付きのコネクターを、REC (リアエレクトリカルセンター) のすぐそばに位置づける (固定はしない)。
- 33 スピーカーを接続し、固定する。カバーがあればこれも取り付ける。

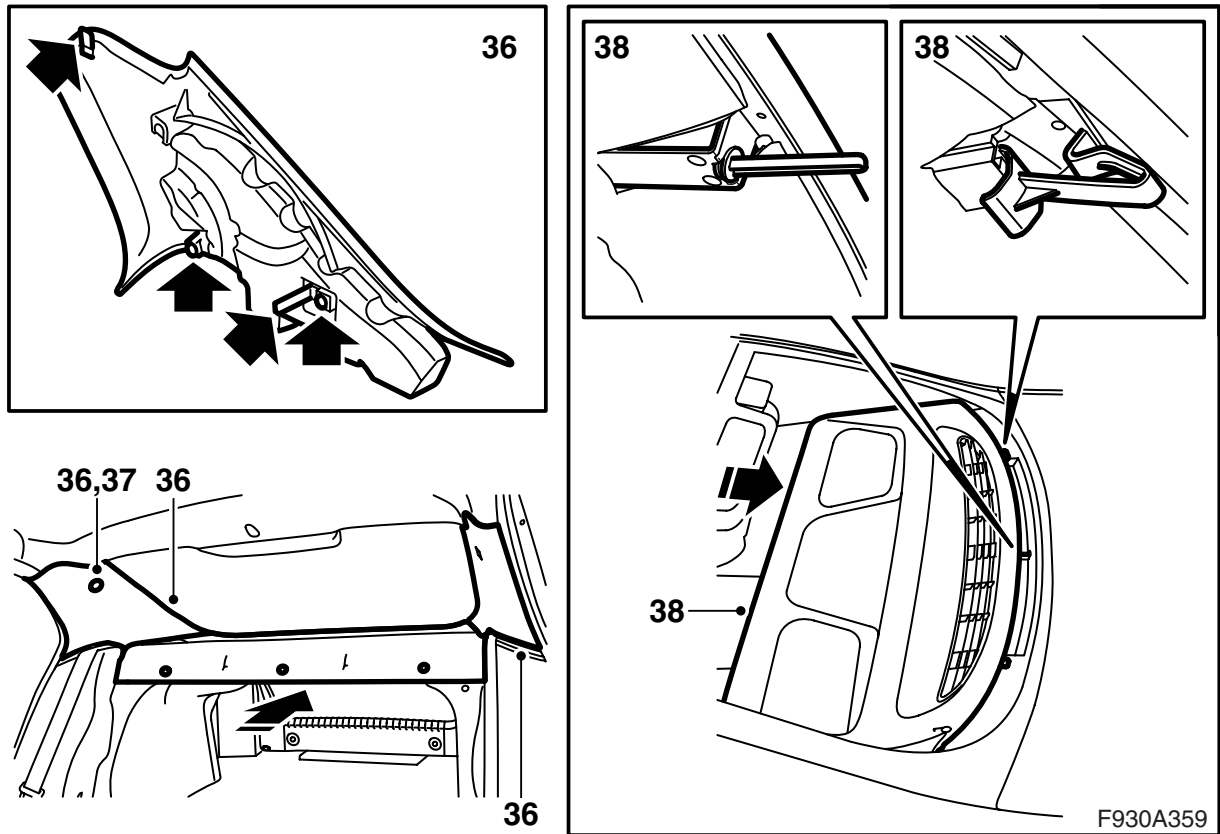
重要事項

車に低音域スピーカーが無い場合は、コネクターはスピーカーのカバー下側に取り付ける。

- 34 テレマティークユニットをパーセルシェルフ上に置き、ワイヤーハーネスとアンテナケーブルを接続する (青いコネクター)。アンテナケーブル上の未使用の紫色コネクターを元に戻して固定し、ネジを取り付ける。

締め付けトルク : 8 Nm (6 lbf ft)

- 35 ワイヤーハーネスをパーセルシェルフ上の溶接ボルトに固定する。アンテナケーブルをワイヤーハーネスのケーブルクランプ内に固定する。



- 36 各Cピラートリムを定位置に付ける。エキスパンダーがボディ内に押し込まれないよう、ネジに注意して作業すること。

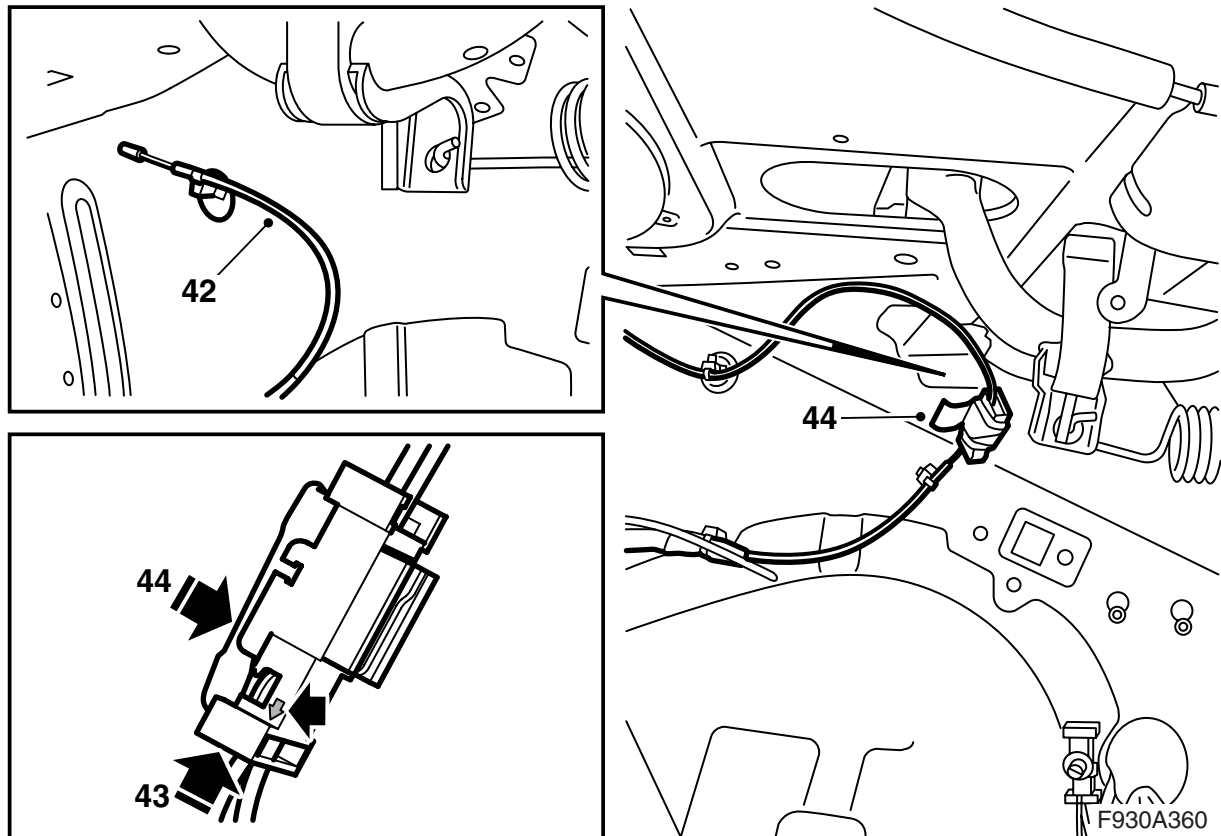
⚠ 警告

衝突カーテンを損傷しないように注意する。万一これを損傷してしまうと、衝突カーテンが車の衝突時に、意図された通りの乗員の安全保護効果を発揮しない恐れがある。

各ネジを締め付ける。

締め付けトルク : 2 Nm (1.5 lbf ft)

- 37 カバーワッシャを取り付ける。
- 38 リアトレイトリムをはめ込む。各ガイドが、リアトレイパネルの各キャッチにきちんと入るようにすること。
- 39 リアトレイのトリムにクリップを取り付ける。
- 40 バックレストを起こす。バックレストがロックされていることを確認する。



- 41 **M03:** ファイバーケーブル用コネクタ（トランクルーム右側、パーセルシェルフから配線されているもの）を、キットのコネクタのうちの 1 個に取り付ける。
- 42 **M03:** トランクルーム右側に固定されているファイバーケーブルを見つけ、保護具を取り外す。
- 43 **M03:** ファイバーケーブル上の接続部を、パーセルシェルフからのファイバーケーブルに対する位置で、矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いているところに取り付ける。
- 44 **M03:** ロックプレートを取り付け、コネクタ周囲にがたつき防止用テープを巻く。

- 45 **テレマティークユニットが無く、REC（リアエレクトリカルセンター）そばにブラケットが無い車：**手順 46 から作業を続行する。

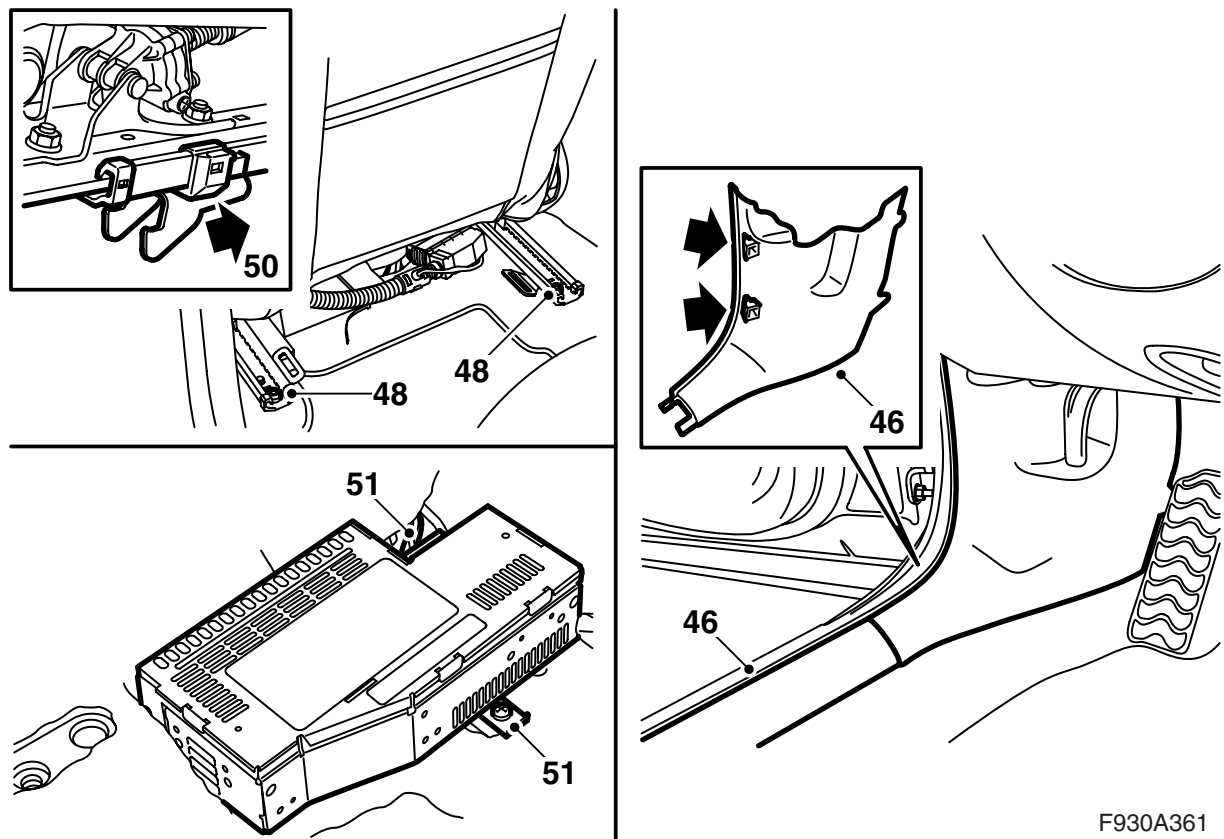
テレマティークユニットが無く、REC（リアエレクトリカルセンター）そばにアンプ 1 個用の小さいブラケットだけがある車：アンプとブラケットを取り外し、手順 82 から作業を続行する。

M03 で、テレマティークユニットが無く、REC（リアエレクトリカルセンター）そばに複数のユニットが入る大きなブラケットがある車：手順 71 から作業を続行する。

M04 以降で、テレマティークユニットが無く、REC（リアエレクトリカルセンター）そばに複数のユニットが入る大きなブラケットがある車：手順 90 から作業を続行する。

テレマティークユニットがあり、REC（リアエレクトリカルセンター）そばにブラケットが無い車：手順 82 から作業を続行する。

テレマティークユニットがあり、REC（リアエレクトリカルセンター）そばに複数のユニットが入る大きなブラケットがある車：手順 90 から作業を続行する。



F930A361

46 フロントスカッフプレートを車の左サイドから取り外す。

M04以降: 左側Aピラートリムの下部分を取り外す。

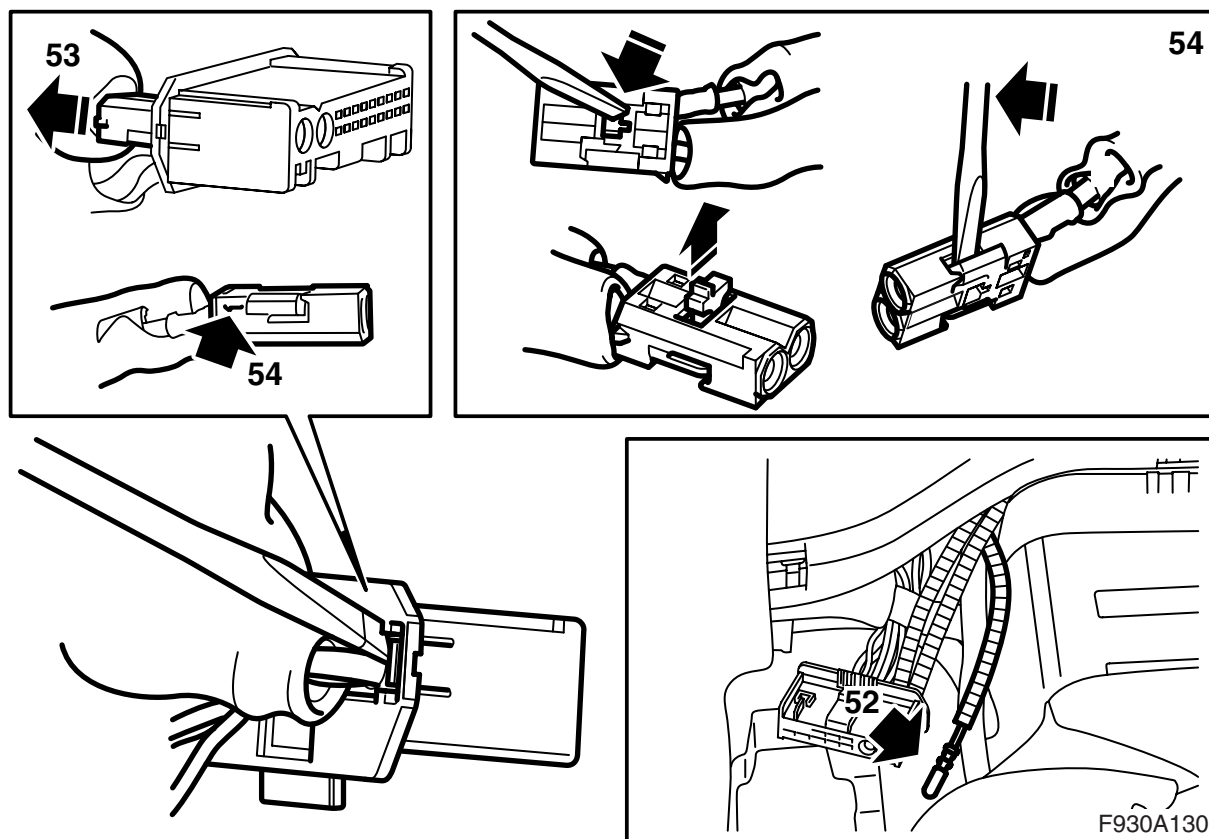
47 左フロントシートを最前位置にし、バックレストを前方に倒す(まだこの作業を行っていない場合)。

48 シートから後部固定ボルト2本を取り外す。

49 シートを前方に傾ける。

50 シートを後方に引っ張り、各固定フックが所定位置から外れるようにする。シート全体を後方に倒す。

51 アンプを取り外す。



52 アンプのそばにある、緑色のマークが付いたファイバーケーブルを見つける。

カラーマークが無い場合：本取り付け説明書の手順 85 と 86 の記述に従う。アンプ付近の光ファイバーケーブル上を懐中電灯などで照らし、トランクルーム内の光ファイバーケーブルを見て、該当する光ファイバーケーブルを探す。これにテープ片を貼ってマークする。

54 1の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクタのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。

55 追加ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。

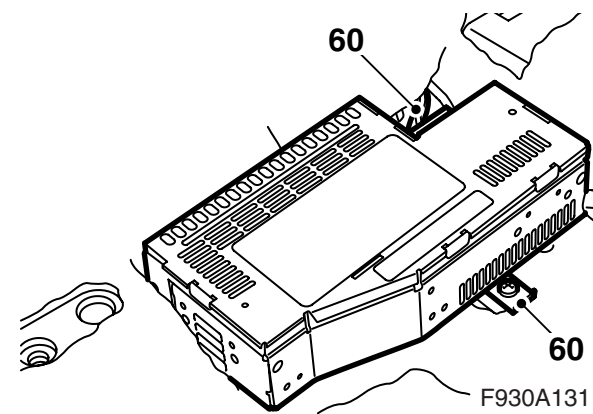
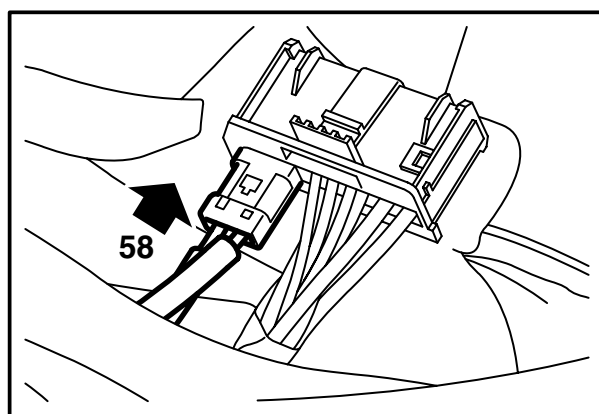
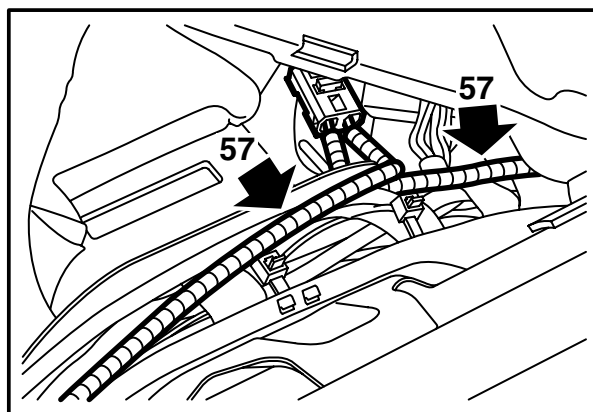
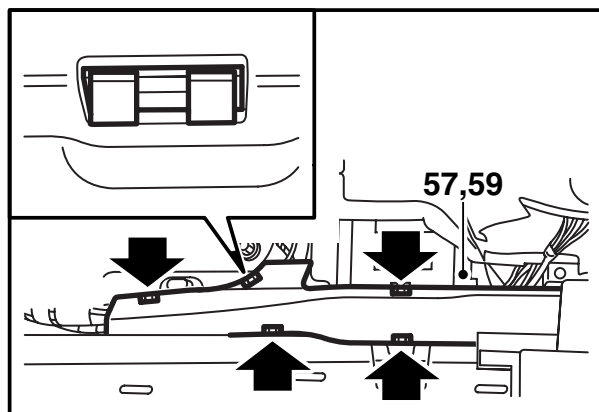
56 取り外したファイバーケーブルの接続部分に保護具を取り付け、ファイバーケーブルを（損傷しないため）注意深くどける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

53 光ファイバーケーブルのコネクター（小型コネクター）をアンプのコネクターから外す。



57 ケーブルダクトのリッドを取り外し、ファイバーケーブルが折れ曲がらないことを確認の上、ファイバーケーブル接続部をアンプの小型コネクターの位置 1 に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。

59 ケーブルダクトにリッドを取り付け、マットを元通りに直し、コネクタと各ケーブルをマットの穴から外へ出す。

60 アンプを接続し、取り付ける。

M03 : 手順 68 から作業を続行する。

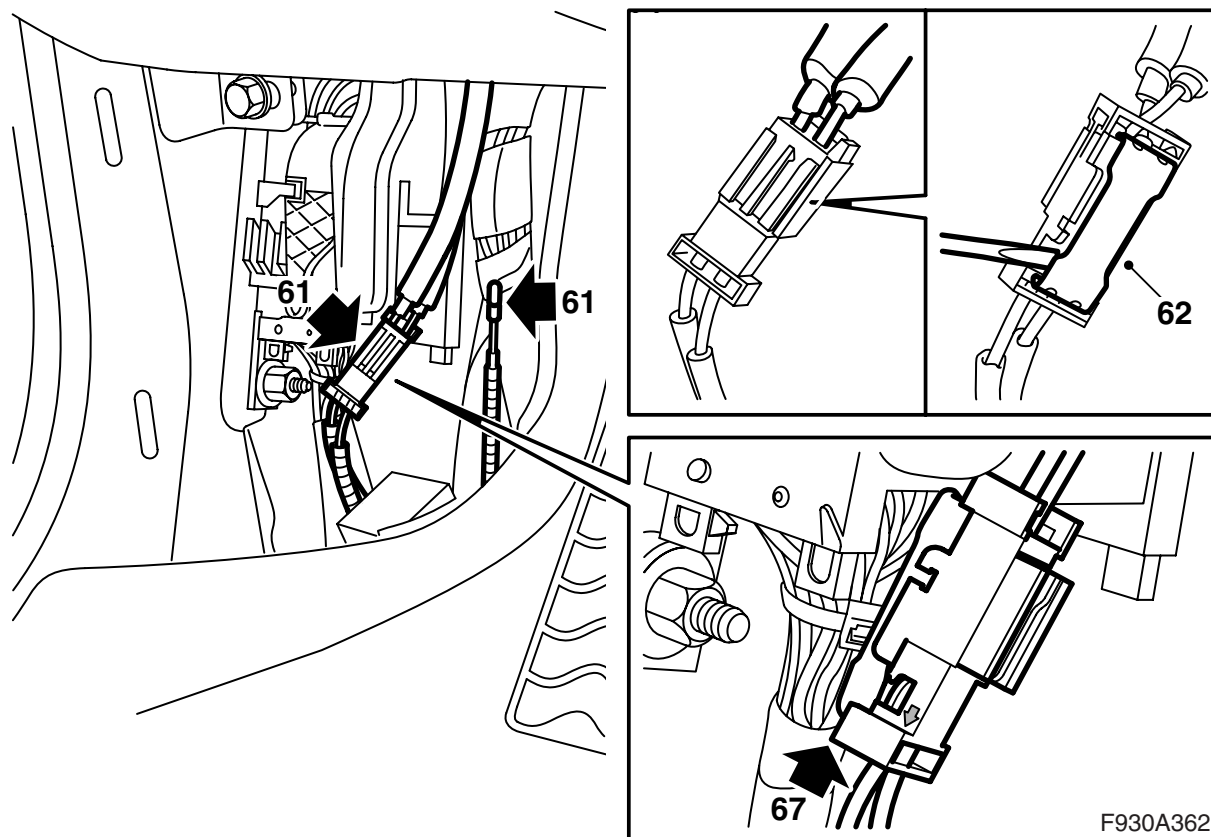
M04 以降 : 手順 61 から作業を続行する。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

58 小型コネクタを大型コネクタに取り付ける。



61 左 A ピラーそばにあるファイバーケーブルが接続されたコネクタと接続されていないファイバーケーブルを探し出す（ケーブルダクトにテープ止めされている）。

⚠ 警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

- 62 コネクタのロックプレートを持ち上げる。
 63 コネクタの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置からファイバーケーブルを取り外す。

64 接続されていないファイバーケーブルから固定テープを取り外す。

65 接続部からカバーを取り外す。

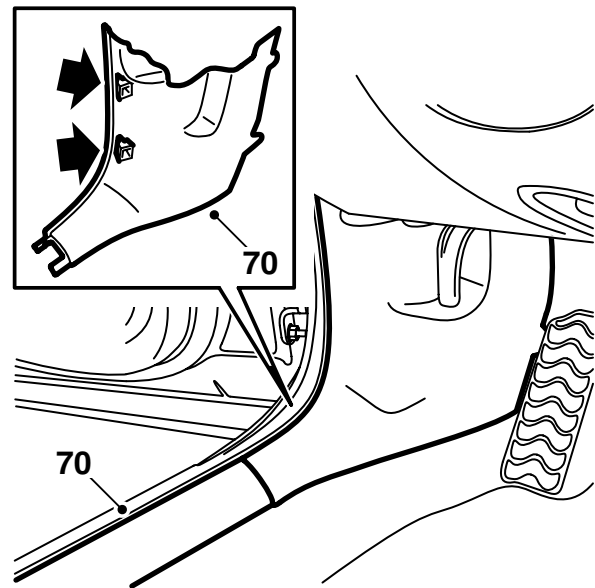
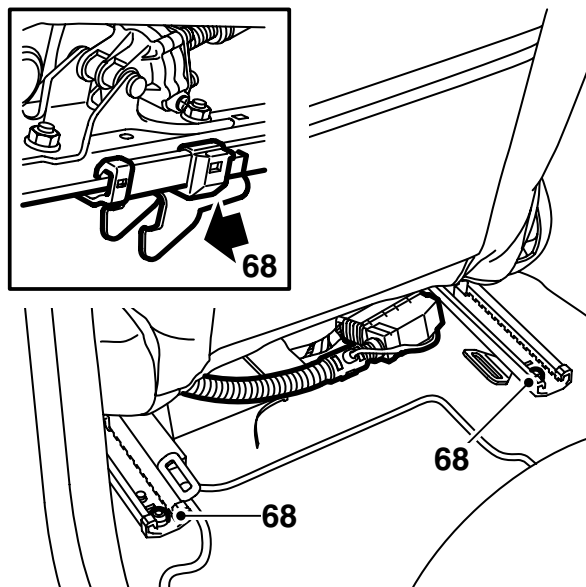
66 取り外された接続部にカバーを取り付け、損傷しないようにして慎重に邪魔にならないように除け、ワイヤーハーネス後方に配置する。

67 分岐コネクタの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置に、新しい光ファイバーケーブルの接続を取り付け、ロックプレートを取り付ける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の 2 本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



F930A363

- 68 シートを正しい位置にする。固定フックがそれぞれ正しいキャッチにはまるようことをよく確認の上、リア固定ボルトをそれぞれ取り付ける。

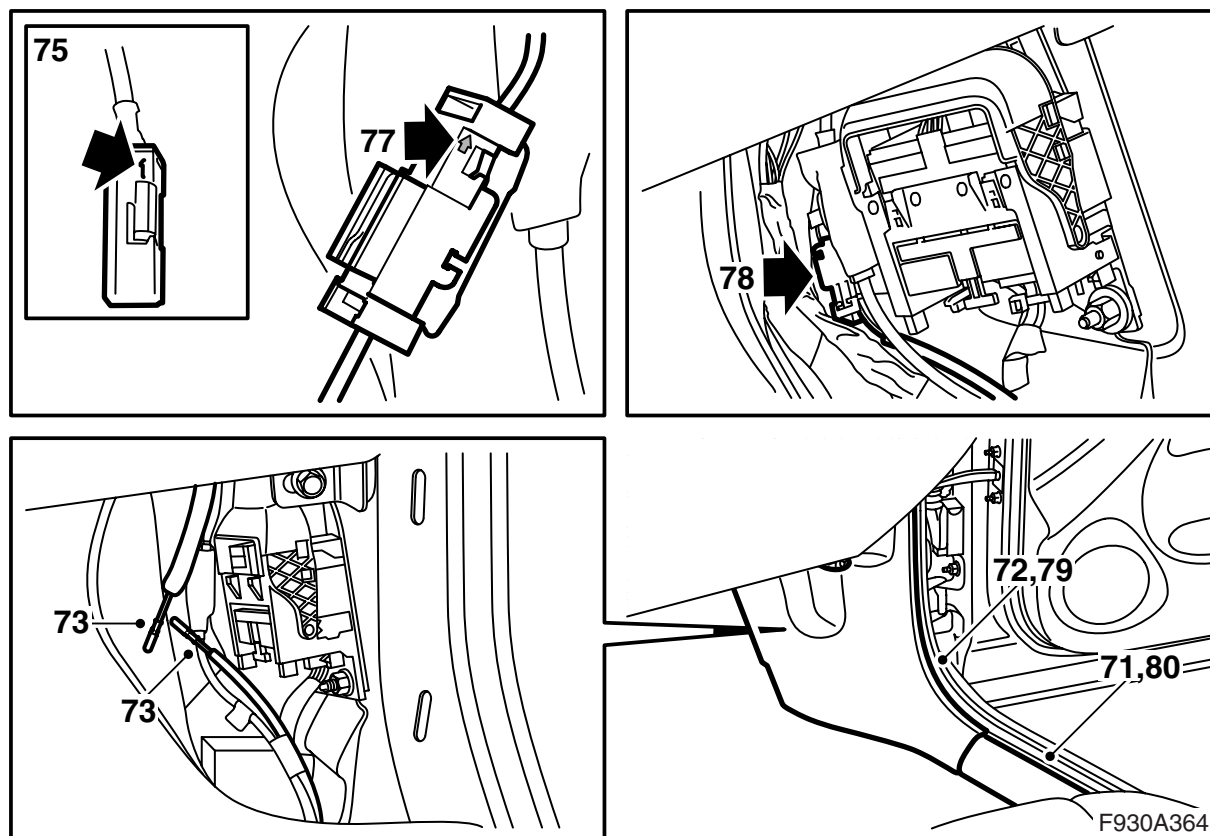
締め付けトルク : 30 Nm (22 lbf ft)

- 69 **マニュアルシート** : シートを後方に移動し、バックレストを通常的位置 (立てた位置) に戻す。

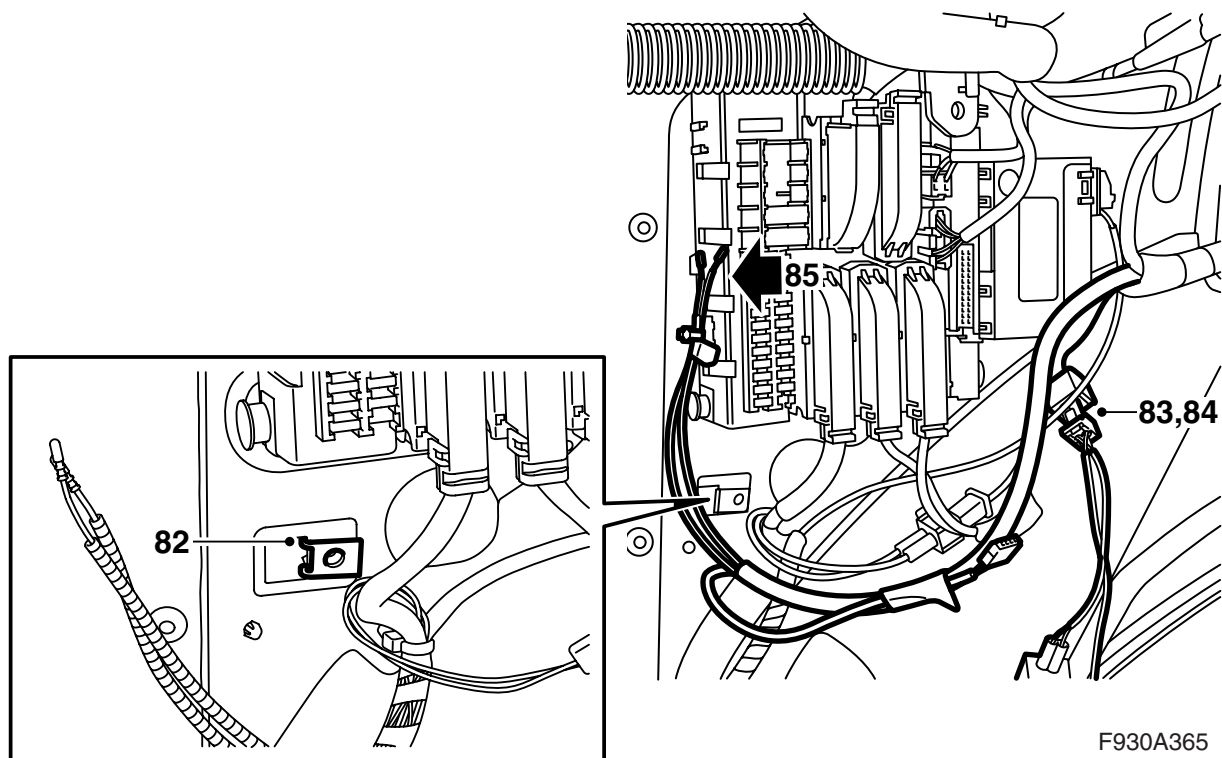
パワーシート : バッテリーのマイナスケーブルを接続し、シートを後方いっぱいまで移動し、バックレストを通常的位置 (立てた位置) に戻す。バッテリーのマイナスケーブルの接続を外す。

- 70 **M03** : スカッフプレートを取り付け、手順 71 から作業を続行する。

M04 以降 : A ピラートリムとスカッフプレートを取り付け、手順 82 から作業を続行する。



- 71 車の右側フロントのスカッフプレートを取り外す。
- 72 右側Aピラートリムのアンダーパーツを取り外す。
- 73 右側Aピラーに沿った光ファイバーケーブルを見つける。
- 74 各ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。
- 75 片方の光ファイバーケーブルの接続を、キット内容のコネクターの位置1に取り付ける。ロックリップを取り付ける。
- 76 小型コネクターをキットのコネクターのひとつに取り付ける。
- 77 もう片方の光ファイバーケーブルの接続を、コネクター内に取り付ける。前のファイバーケーブルに対する位置で、矢印が上向きに光ファイバーケーブルを指す位置に取り付けること。ロックプレートを取り付ける。
- 78 コネクターを大型コネクターの前で固定する。
- 79 Aピラートリムを取り付ける。
- 80 スカッフプレートを取り付ける。
- 81 **REC (リア電気リカルセンター) そばにブラケットが無い車**：手順82から作業を続行する。
REC (リア電気リカルセンター) のそばにブラケットがある車：手順90から作業を続行する。



F930A365

82 クリップナットを REC (リア電気センター) そばの四角い穴に取り付け、ブラケットをトランクルーム内に位置づける。

83 REC (リア電気センター) のそばにある、DVD プレーヤー用のコネクタを見つける。

84 キットのワイヤーハーネスをコネクタに接続する。

テレマティークユニットが無く、REC (リア電気センター) そばにブラケットが無い車:
手順 85 から作業を続行する。

テレマティークユニットが無く、REC (リア電気センター) そばにアンプ 1 個用の小さいブラケットだけがある車: 大きいブラケットにアンプを取り付ける (カチリという音が聞こえるはずである)。アンプの接続をつなぐ。ブラケットはまだ取り付けないで置く。手順 93 から作業を続行する。

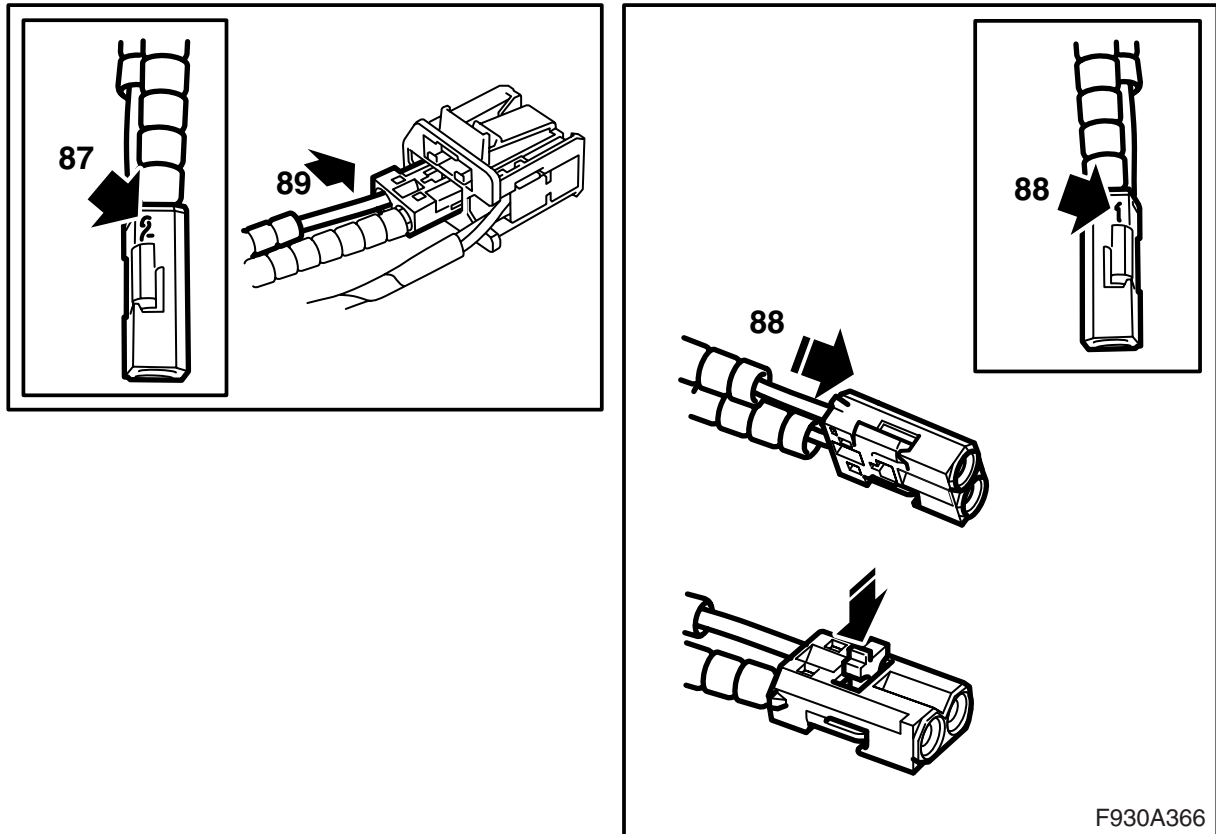
テレマティークユニットのある車: 手順 94 から作業を続ける。

85 REC (リア電気センター) そばの各ファイバーケーブルを見つける。

86 各ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。

⚠ 警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。



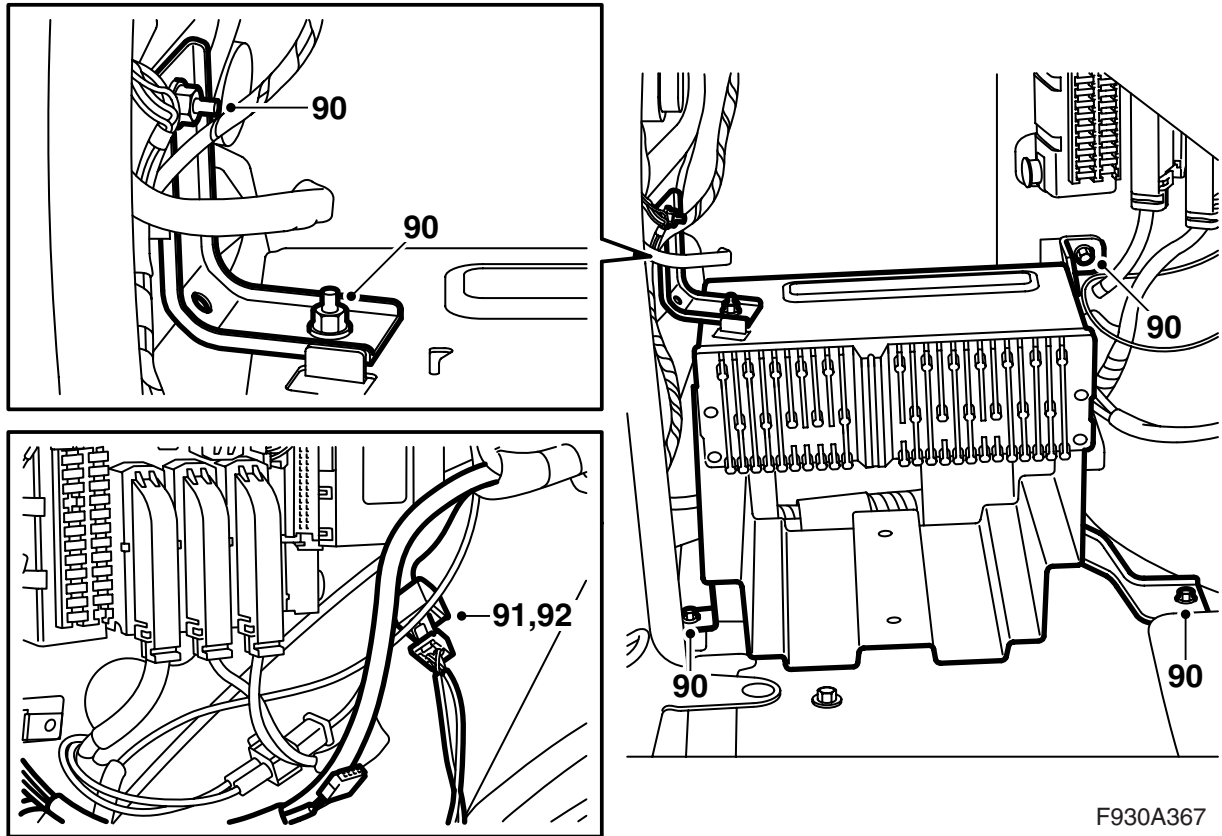
- 87 ファイバーケーブルの、マークの付いていない接続部を、キットの小型コネクターの2の位置に取り付ける。

重要事項

緑色のマークが付いている光ファイバーケーブルが無い車の場合は、以前にテープでマークを付けたファイバーケーブルを2の位置に取り付ける。

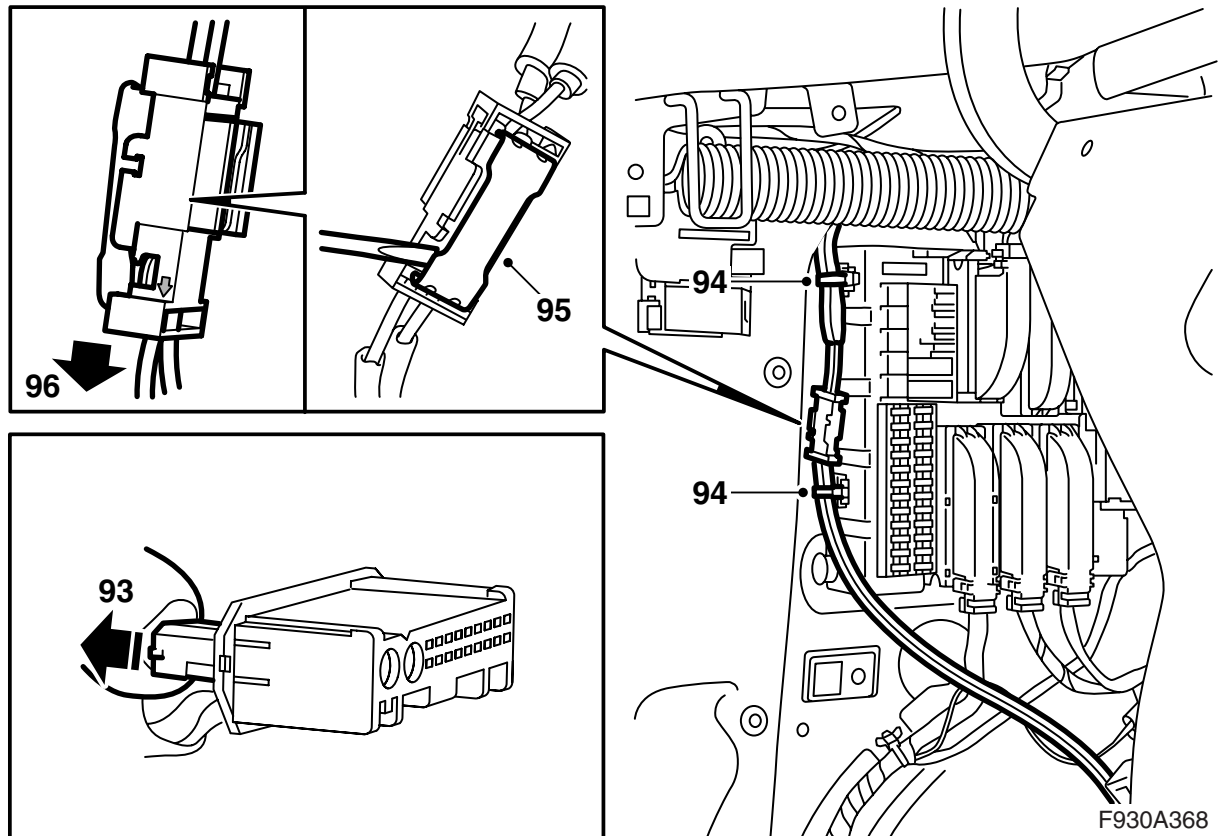
M03 : ロッククリップを取り付ける。

- 88 **M04 以降** : ファイバーケーブルをキットから取り出し、保護具を外して、このファイバーケーブルの一方の接続部をキットのコネクターの1の位置に取り付ける (2の位置には既にファイバーケーブルが1本が接続されている)。ロックプレートを取り付ける。
- 89 小型コネクターを大型コネクターに取り付ける。
手順 109 から作業を続行する。



F930A367

- 90 ブラケットを取り外し、アクセスしやすくするために外側に移動する。
- 91 REC (リアエレクトリカルセンター) のそばにある、DVD プレーヤー用のコネクタを見つける。
- 92 キットのワイヤーハーネスをコネクタに接続する。



93 **REC (リアエレクトリカルセンター) そばにアンプ または CD チェンジャーの入ったブラケットがある車**：アンプまたは CD チェンジャーのコンネクターを外し、小型コンネクターを大型コンネクターから外す。手順 101 から作業を続行する。

REC (リアエレクトリカルセンター) そばにアンプ及び CD チェンジャーの入ったブラケットがある車：CD チェンジャーのコンネクターを外し、小型コンネクターを大型コンネクターから外す。手順 101 から作業を続行する。

94 コンネクターを REC (リアエレクトリカルセンター) そばに固定しているケーブルタイを取り外す。

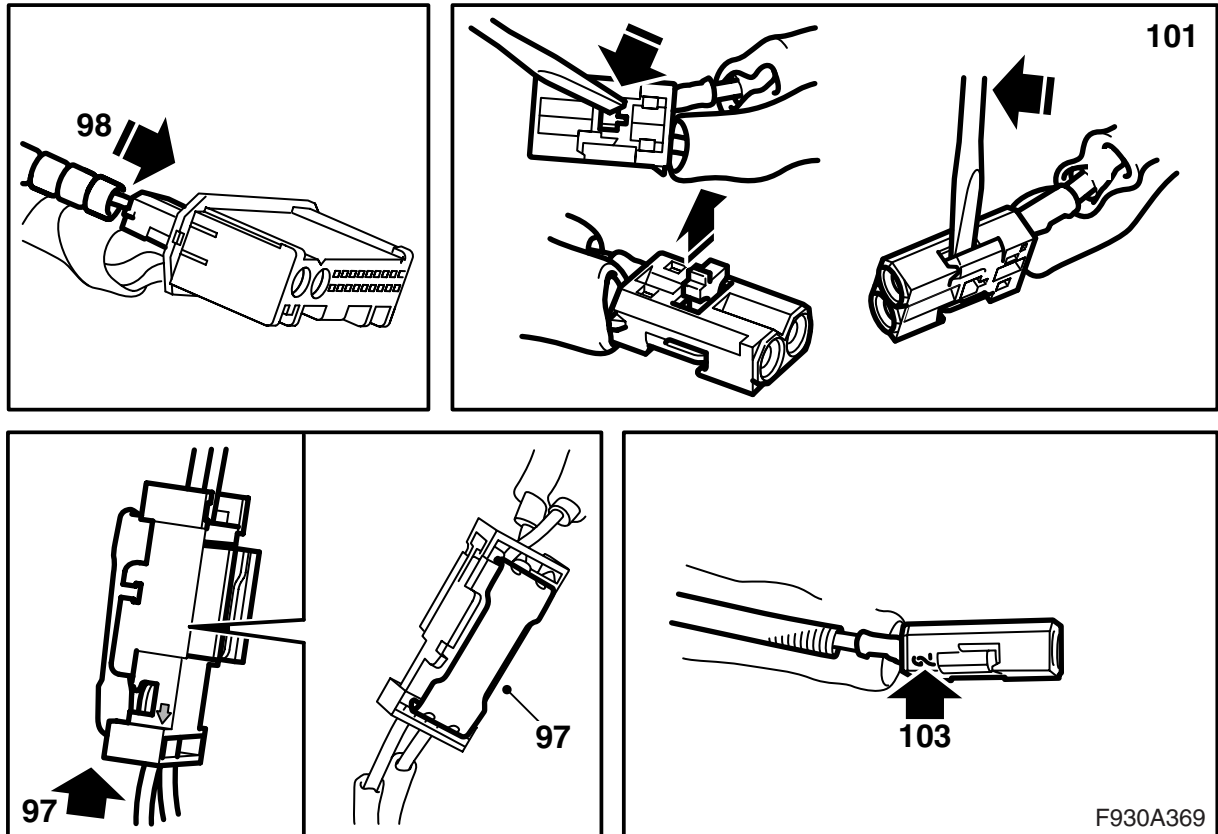
95 コンネクターのロックプレートを持ち上げる。

96 コンネクターの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置からファイバーケーブルを取り外す。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信信号が妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コンネクター内の2本のファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。信号が弱まる恐れがある。



97 ファイバーケーブルをキットから取り出し、保護具を外す。このファイバーケーブルの一方の接続部を、コネクターの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置に取り付ける。ロックプレートを取り付ける。

98 **アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車：**小型コネクターを、アンプ又はCDチェンジャー用の大型コネクターに取り付ける。

99 キットのファイバーケーブルのもう一方の端を、キットのコネクターの1の位置に取り付ける。

100 以前取り外したファイバーケーブルの接続部を、キットのコネクターの2の位置に取り付ける(1の位置には既にファイバーケーブルが1本接続されている)。ロックプレートを取り付ける。

テレマティークユニットの無い車：手順108から作業を続ける。

テレマティークユニットのある車：手順115から作業を続ける。

101 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている場合：**取り外されたコネクターの1の位置に接続されているファイバーケーブルを、ロッククリップを開いて注意深くキャッチを持ち上げ、取り外す。

M03：ファイバーケーブルを、損傷させないように注意深くどける。

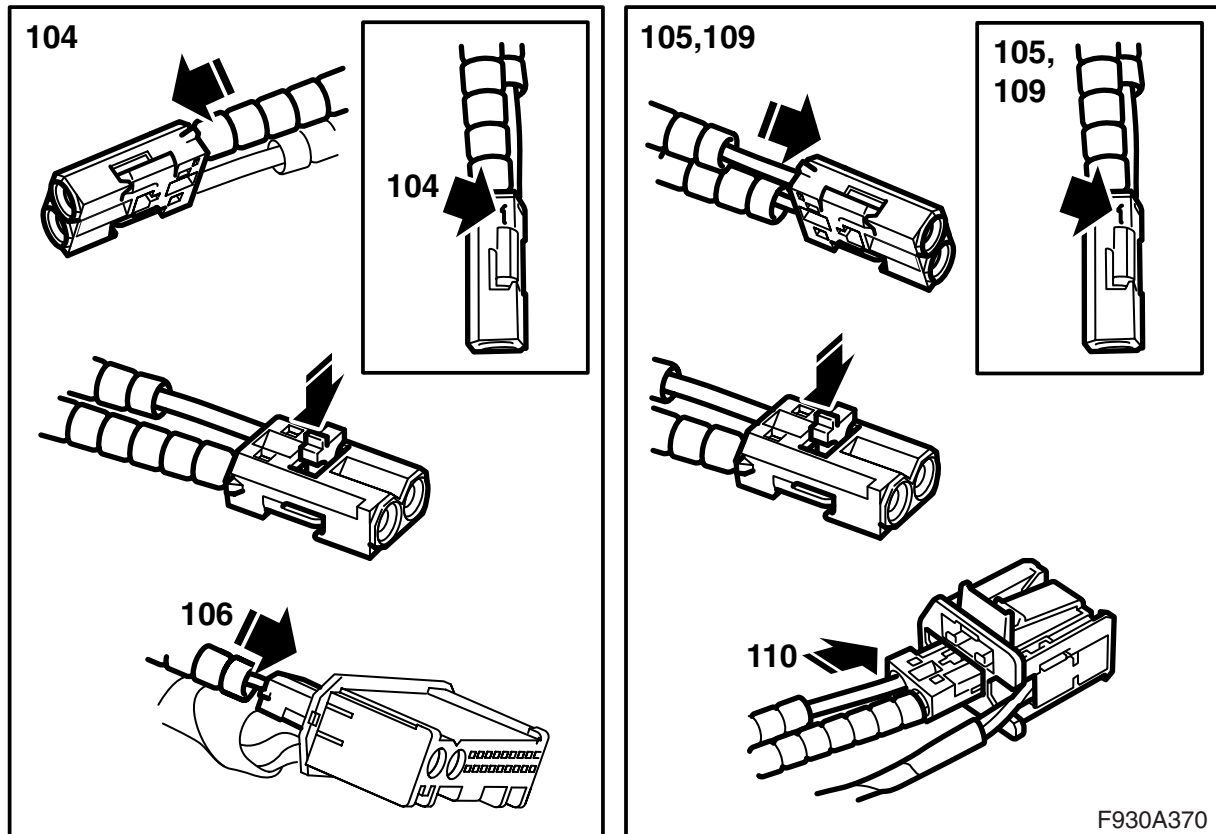
M04以降：ファイバーケーブルの接続部をキットのコネクターの2の位置に取り付ける。

102 **アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車：**アクセサリキットの光ファイバーケーブルの接続から、保護をそれぞれ取り外す。

103 **M03で、アンプ及び/またはCDチェンジャーがある車：**キットのファイバーケーブルの片方の接続部を、キットのコネクターの2の位置に取り付ける。

M04以降で、アンプ及び/またはCDチェンジャーがある車：キットのファイバーケーブルの片方の接続部を、手順101と同じコネクターの1の位置に取り付ける。

F930A369



104 **M03 で、アンプ及び / または CD チェンジャーがある車:** 同じファイバーケーブルのもう一方の端を、取り外したコネクターの 1 の位置に取り付ける。ロックプレートを取り付ける。

M04 以降で、アンプ及び / または CD チェンジャーがある車: 同じファイバーケーブルのもう一方の端を、キットのコネクターの 1 の位置に取り付ける。

105 **M04 以降で、アンプ及び / または CD チェンジャーがある車:** キットからエクストラのファイバーケーブルを取り出し、保護具を外す。このファイバーケーブルの一方の接続部を、キットのコネクターの 1 の位置に取り付ける (2 の位置には既にファイバーケーブルが 1 本接続されている)。ロックプレートを取り付ける。

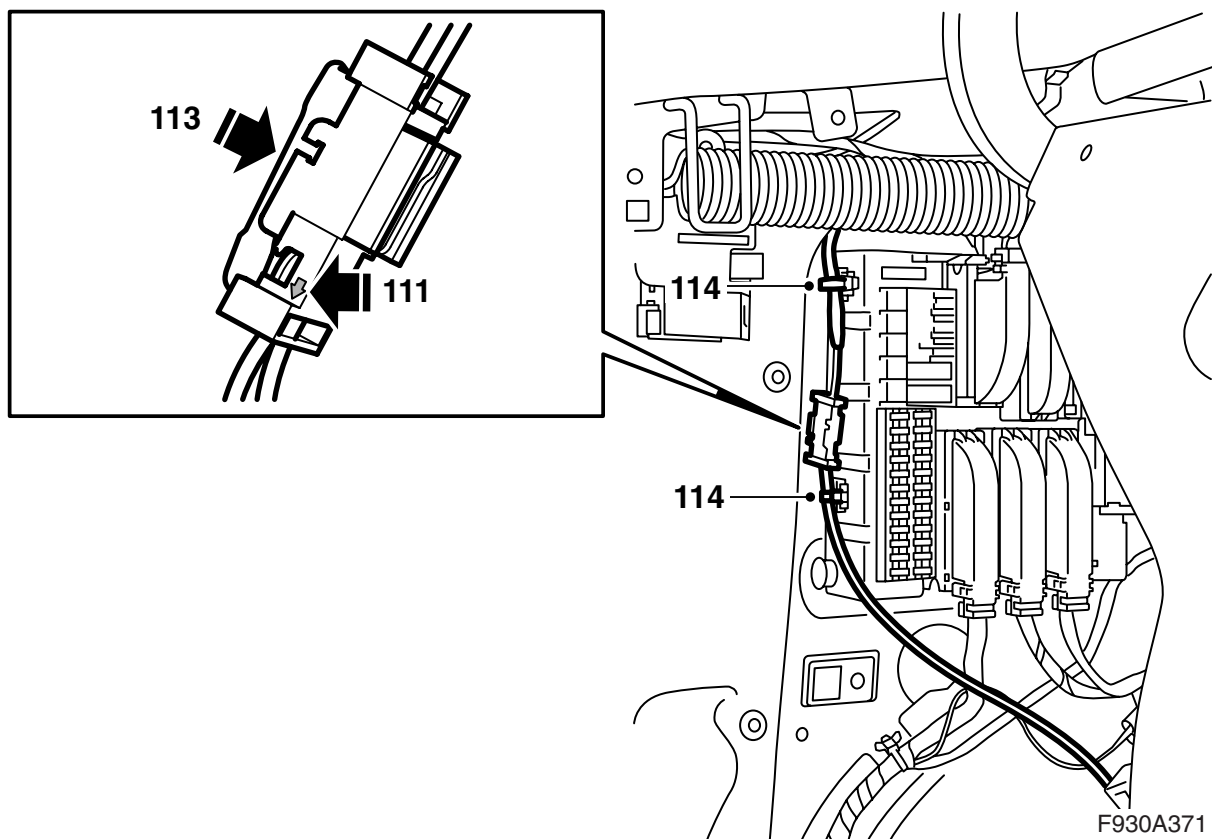
106 **アンプ及び / または CD チェンジャーが取り付けられている車:** 小型コネクターを、アンプ又は CD チェンジャー用の大型コネクターに取り付ける。

107 **M04 以降で、アンプ及び / または CD チェンジャーがある車:** ファイバーケーブルのもう一方の端を、キットのコネクターの 2 の位置に取り付ける (1 の位置には既にファイバーケーブルが 1 本接続されている)。ロックプレートを取り付ける。

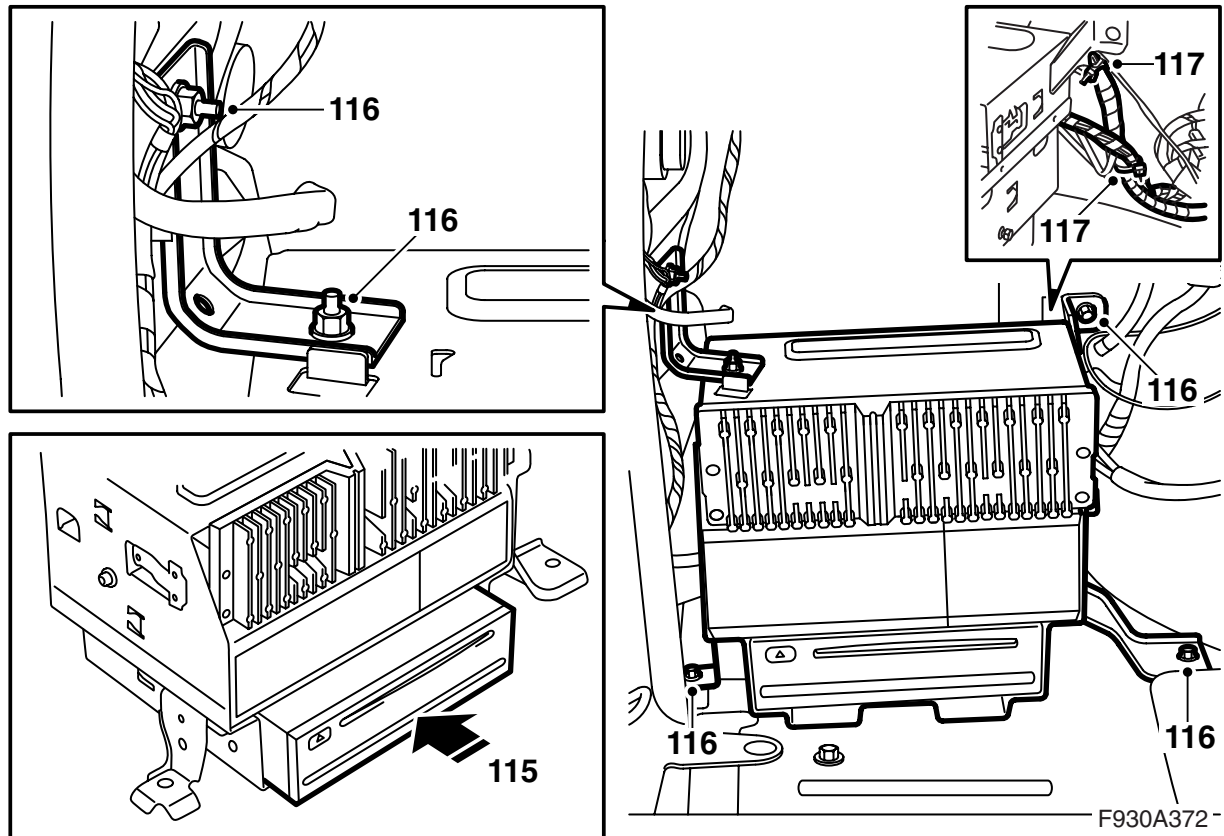
108 **アンプ及び / または CD チェンジャーが取り付けられている車:** アンプ又は CD チェンジャーのコネクターを接続する。

109 **M03:** キットからエクストラのファイバーケーブルを取り出し、保護具を外す。このファイバーケーブルの一方の接続部を、キットのコネクターの 1 の位置に取り付ける (2 の位置には既にファイバーケーブルが 1 本接続されている)。ロックプレートを取り付ける。

110 小型コネクターを DVD プレーヤーのコネクターに取り付ける。



- 111 **M03**: トランクルーム左側でパーセルシェルフから配線されているファイバーケーブル用のコネクタを、キットのコネクタのうちのひとつに取り付ける。キットのファイバーケーブルのもう一方の接続部を、パーセルシェルフからのファイバーケーブルに対する位置で、矢印が外向きに光ファイバーケーブルを指す位置に取り付ける。
- 112 **M04 以降**: パーセルシェルフのワイヤーハーネスからの紫色のコネクタを、REC (リアエレクトリカルセンター) そばのコネクタに取り付ける。
- 113 ロックプレートを取り付け。
- 114 光ファイバーケーブルを、2本のケーブルタイ (このうち1本はパーセルシェルフから下がってくるファイバーケーブルに取り付けられている) を使用して、REC (リアエレクトリカルセンター) に固定する。



115 DVDプレーヤーをブラケットに取り付ける。カチッという音が聞こえるはずである。それから DVD プレーヤーを接続し、ブラケットをはめ入れる。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

116 ブラケットを取り付ける。ブラケット天面の各ナットもしっかり締め付ける。

117 キットのワイヤーハーネスを車のワイヤーハーネスに固定する。

118 **M03** : サイドトリムを両方とも取り付ける。

M04 以降 : サイドトリムを取り付ける。

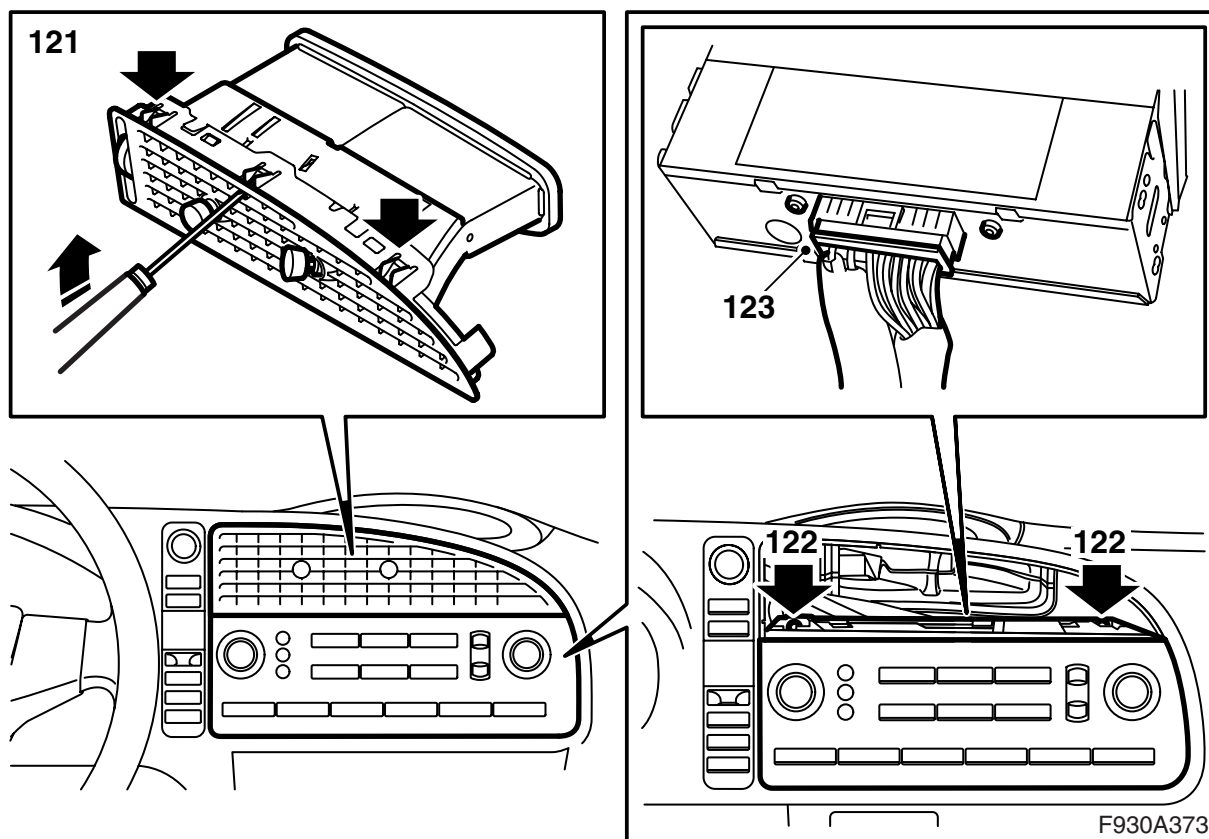
119 トランクルーム左側サイドトリムのカバーを取り付ける。

重要事項

DVD プレーヤー用のブラケットが以前に取り付けられていなかった場合には、新しいハッチを取り付けること。

M03 : 右側のハッチを上げて閉じる。

120 トランクルームフロアを下ろす。



121 グリルを通してフックを操作し、フックを注意深く曲げることで、インストルメントパネル中央の空気吹き出し口を取り外す。

注記

正しいキャッチを内側に曲げることが重要である。各空気吹出口を連結している各キャッチもグリルから見える。

122 インフォティメントシステムの操作パネル用の固定ボルトを取り外す。

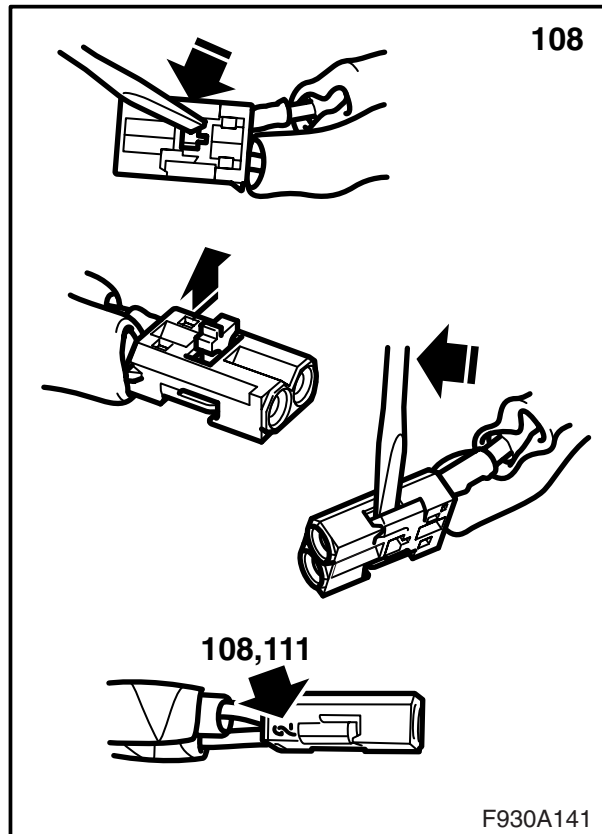
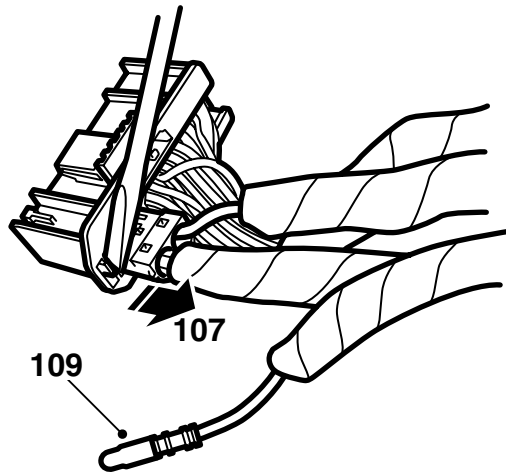
123 操作パネルを取り外し、コネクタを外す。

⚠ 警告

赤い可視光線はレーザークラス1である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

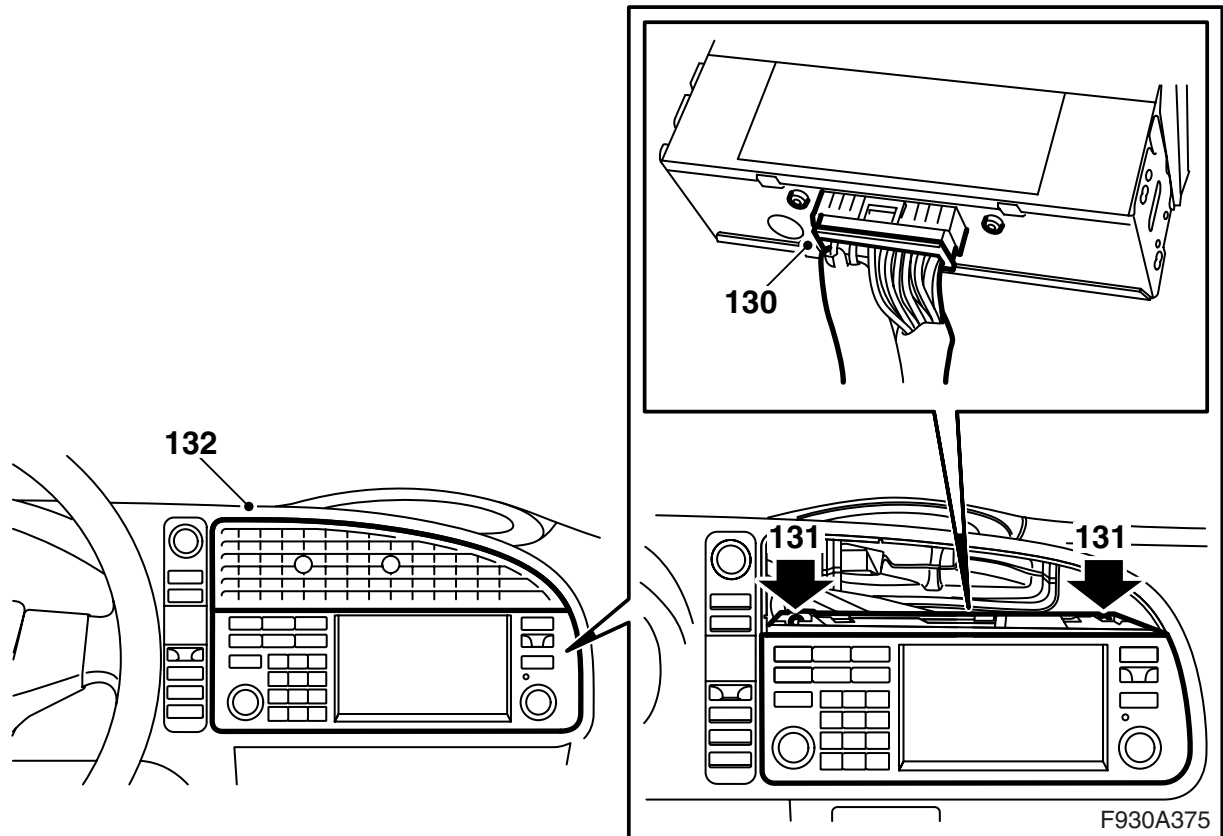
M03 : 手順 124 から作業を続行する。

M04 以降 : 手順 130 から作業を続行する。



F930A141

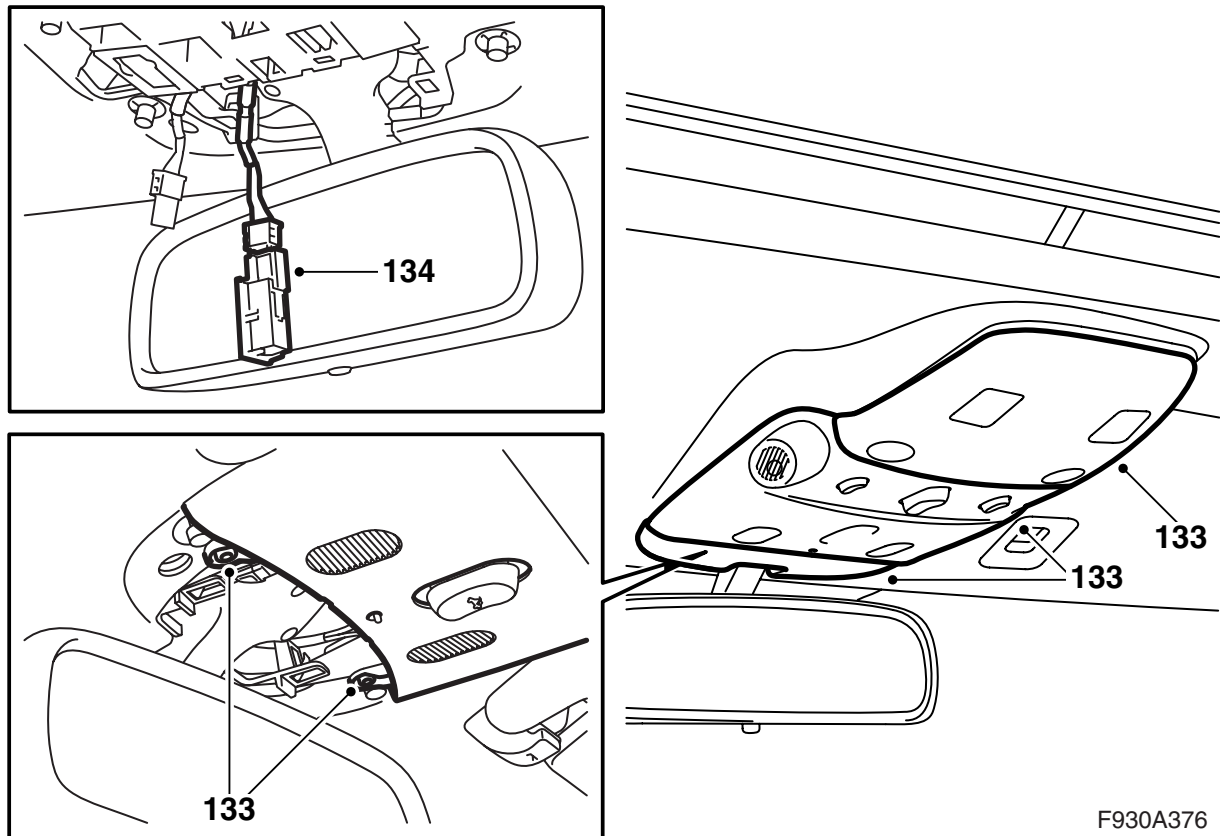
- 124 光ファイバーケーブルのコネクタ（小型コネクタ）を操作パネルのコネクタから取り外す。
- 125 2の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクタのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。
- 126 3つ目の光ファイバーケーブルを見つけ、ファイバーケーブルの接続から保護を取り外す。
- 127 取り外したファイバーケーブルの接続部分に保護具を取り付け、ファイバーケーブルを（損傷しないため）注意深くどける。
- 128 操作パネル後方にある、青いマークの付いたファイバーケーブル（接続されていないもの）を、2の位置に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。
- 129 小型コネクタを大型コネクタに取り付ける。



130 コネクターを、キットの操作パネルに接続する。

131 操作パネルを取り付ける。

132 空気吹き出し口をはめ合わせ、取り付ける。



F930A376

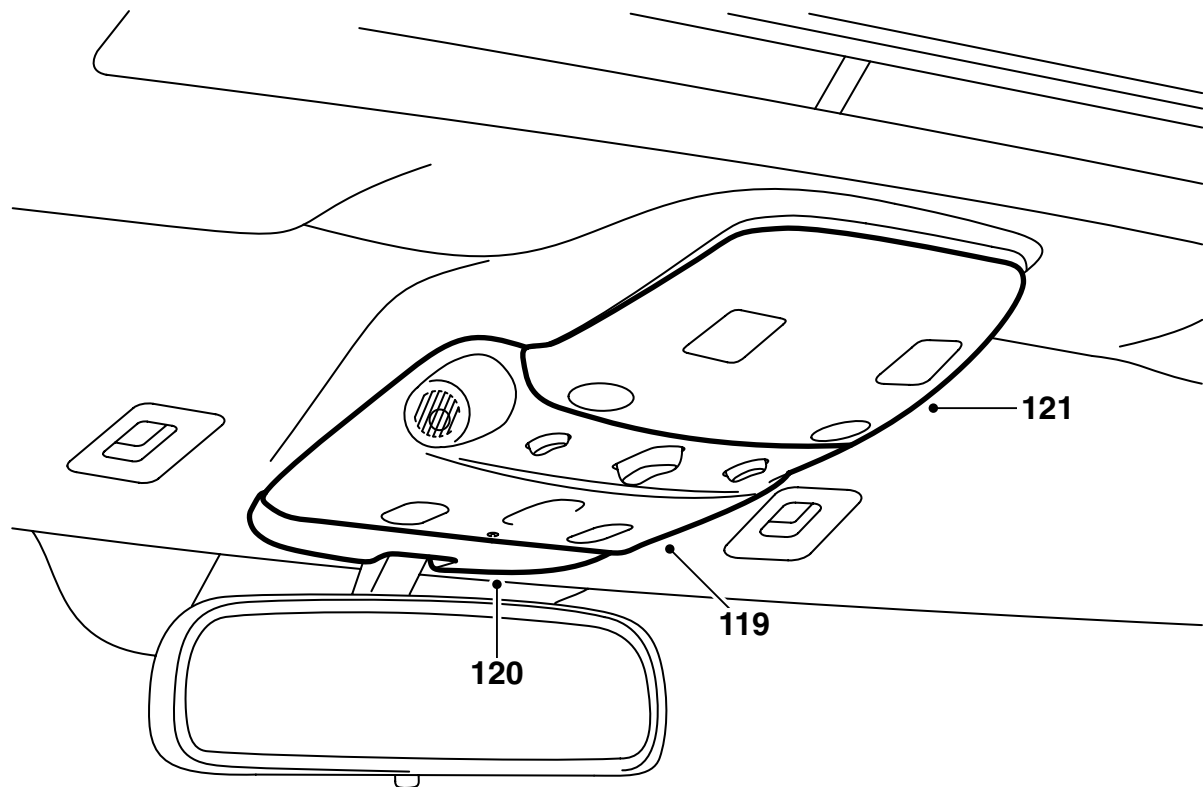
- 133 一体型電話またはナビゲーション用予備配線の無い車： ルーフライトのカバーの、前後及び中央のパーツを取り外す。部品番号 82 93 474 の工具の使用を推奨する。

重要事項

中央のパーツは 2 本のボルトで取り付けられている。

- 134 電話も、電話用予備配線も無い車： マークの付いていないコネクタ（ケーブル 2 本付き）を見つける。マイクロフォンへのコネクタを接続する。マイクロフォンを、LHD 車では左側、RHD 車では右側に取り付ける。マイクロフォン用の開口部をおおっているテープ片をはがす。

携帯電話用のハンドフリーキットが取り付けられている車： マークの付いていない、2 本のケーブル付きコネクタを見つける。このコネクタをマイクロフォンに接続する。マイクロフォンを LHD 車の場合は左側、RHD 車の場合は右側に取り付ける。マイクロフォン用の開口部をおおっているテープをはがして取る。



F930A144

- 135 **一体型電話の無い車**： ルーフライト用カバーの、中央のパーツを取り付ける。
- 136 **一体型電話の無い車**： ルーフライト用カバーの、前側のパーツを取り付ける。
- 137 **一体型電話の無い車**： ルーフライト用カバーの、後ろ側のパーツを取り付ける。
- 138 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
- 139 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。

重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。

- 140 日付と時刻を調整する。
- 141 サイドウィンドーを2回上下させることで、パワーウィンドーの挟み込み防止機能を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。
- 142 **左側フロントシートがパワーシートになっている車**： シート位置が変更された場合は、元に戻す。

- 143 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加 / 削除」を選択して、アクセサリを選択し、「追加」を選択する。

注記

診断ツールは、場合によってTISセーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

- 144 地図ディスクをDVDプレーヤーに入れる。ナビゲーションシステムが通信衛星と交信するまで車をテスト走行する。地図がディスプレイ上に表示されるはずである。